SHARP®

インターネット液晶ファクシミリ
取扱説明書

Color

形名UX-W90CL（ユーエックス ダブル 90 シーエル）

fappy*-i［ファッピィ：アイ］
Happy FAX, Happy Internet.

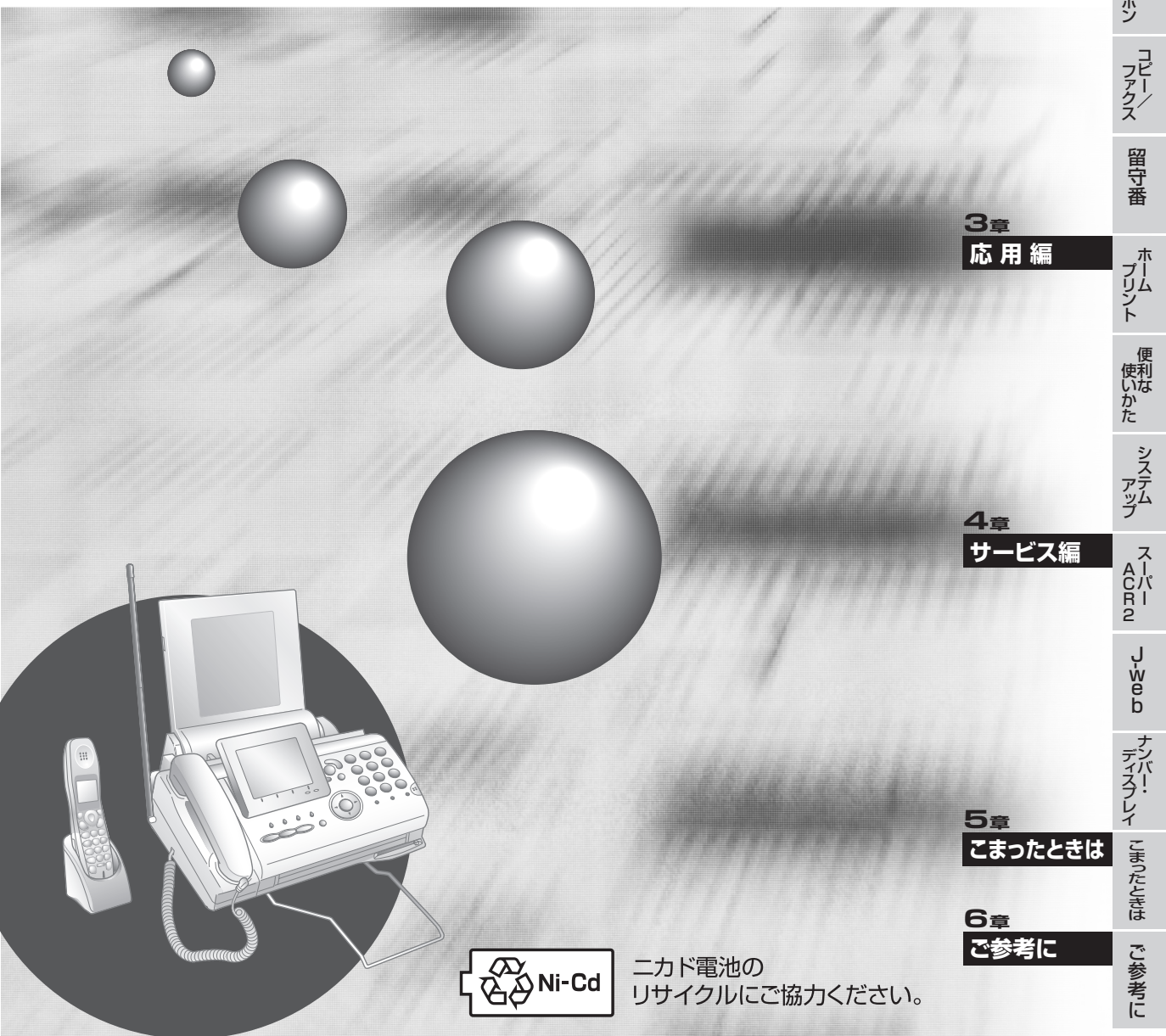
1章 準備
準備
電話
ホームテレホン
コピー／ファクス
留守番

2章 基本編

3章 応用編
ホームプリント
便利な使いかた
システムアップ

4章 サービス編
スーパーACR2
J-web
ナンバー・ディスプレイ

5章 こまったときは
こまったときは

6章 ご参考に
ご参考に

Ni-Cd
ニカド電池の
リサイクルにご協力ください。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

技術基準適合品

もくじ

ページ

1章 準備

ページ

2章 基本編

電話

ページ

ホームテレホン

ページ

コピー／ファクス

ページ

留守番

ページ

3章 応用編

ホームプリント

便利な使いかた

便利な使いかた

システムアップ

4章 サービス編

スーパーACR2

J-web

ナンバー・ディスプレイ

5章 こまったときは

6章 ご参考に

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

⚠危険 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

⚠警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

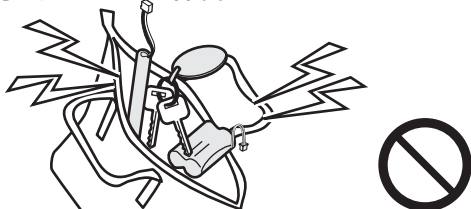
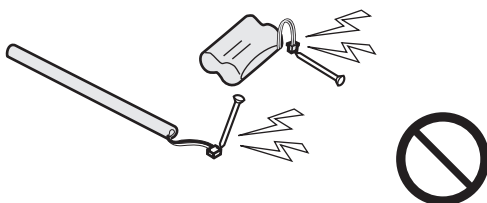
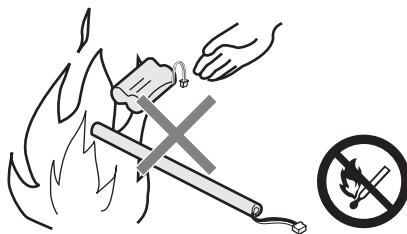
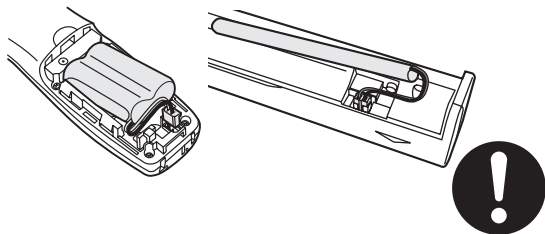
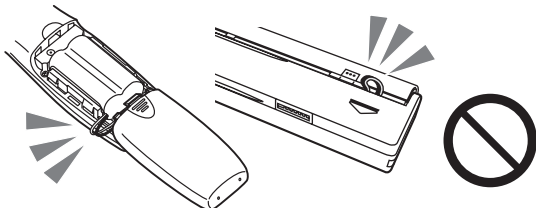
上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

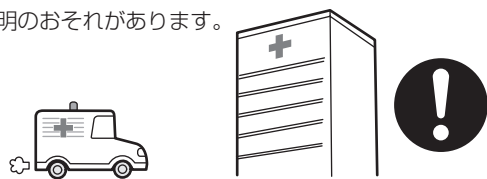
上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

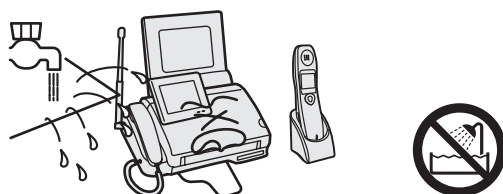
⚠危険

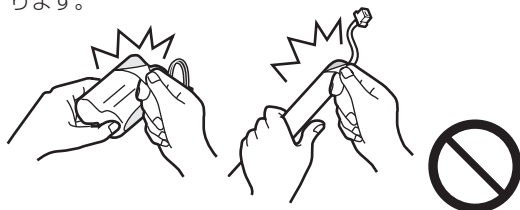
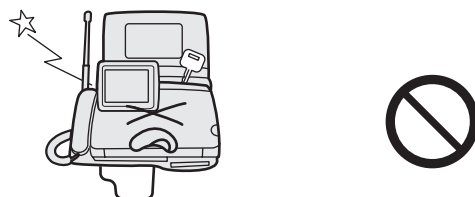
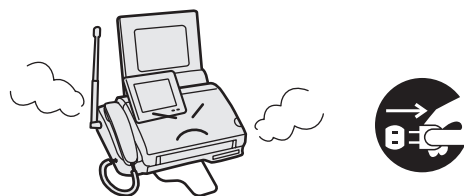
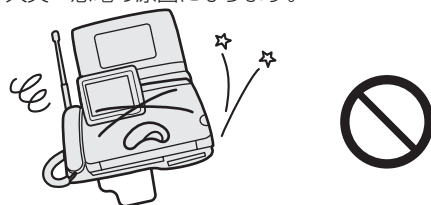
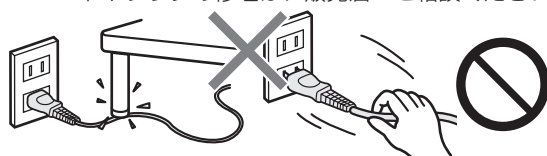
充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

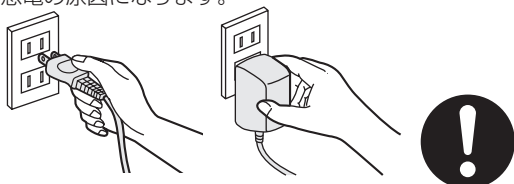
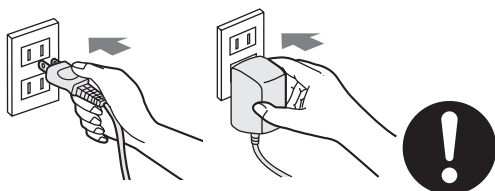
■充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。

■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。

■充電池は、専用のものを使用してください。

■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

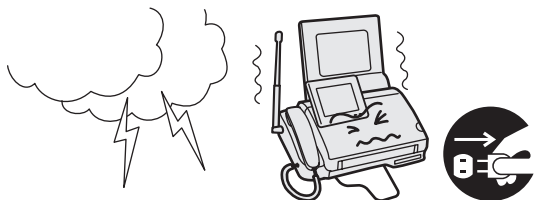
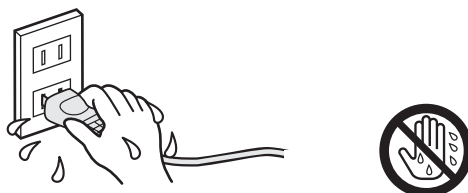
失明のおそれがあります。

⚠警告

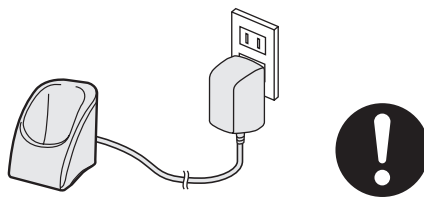
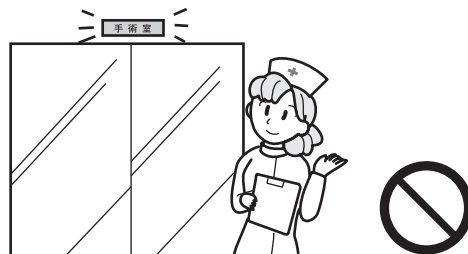
■水や薬品などの液体をこぼさないでください。
火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■浴室など、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。

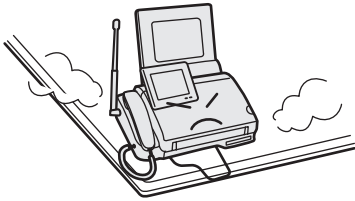
■充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

■内部に金属物を入れないでください。
火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。
火災・感電の原因になります。差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。
けがの原因になります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

■電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、無理に曲げたりねじったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。
コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

⚠警告

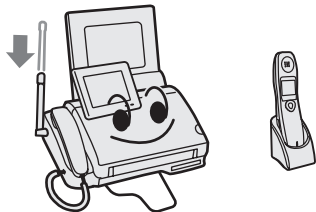
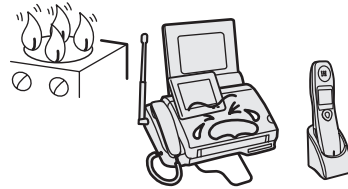
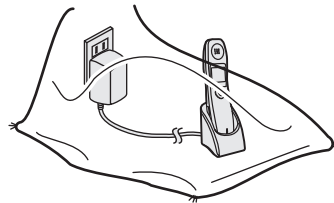
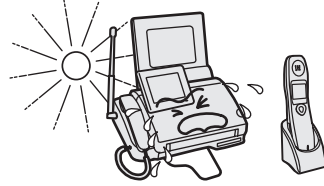
■差し込みプラグやACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。
感電の原因になります。

■差し込みプラグやACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。
感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
火災・感電・故障の原因になります。

■ぬれた手で差し込みプラグやACアダプターの抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

■この製品は国内電源仕様です。家庭用電源（交流100V）のコンセントに必ず接続してください。
海外や交流100V以外の電源で使用すると、火災や感電の原因になります。

■子機を充電するときは、専用の充電器、ACアダプターを使用してください。
指定以外のものを使用すると、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因になります。

■医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠注意

■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。
通風口をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になることがあります。

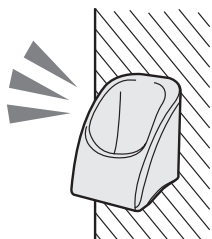
■この製品を移動するときは、アンテナをたたんで、差し込みプラグ・電話機コード・ACアダプターを抜いてください。
事故の原因になることがあります。

■火気や熱器具に近づけないでください。
変形や故障、火災の原因になることがあります。

■充電器やACアダプターを布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■暑い場所や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。
35℃以上5℃以下では、誤動作・変形・故障の原因になります。

■万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

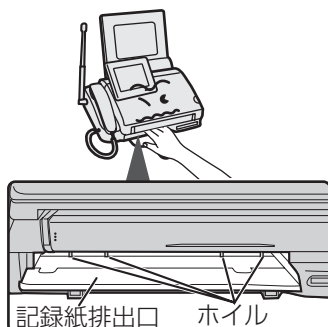
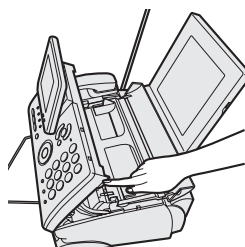
○アース線を取り付けられるところ
電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
設置工事（D種）が行われている接地端子

○アース線を取り付けてはいけないところ
ガス管
電話専用アース
避雷針
水道管や蛇口

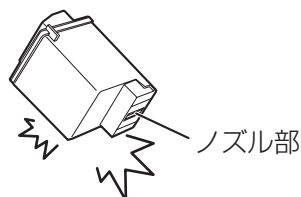
⚠注意

■子機を壁にかけて使用するときは、充電器を確実に取り付けてください。
落下により、けがの原因になることがあります。

■カラーハンドコピーは落としたり、ぶつけたりしないでください。
落下によりガラスが割れてけがの原因になることがあります。

■記録紙排出口から手を入れないでください。
ホイルなどにより、けがの原因になることがあります。

■カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。
けがの原因になることがあります。

■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。
感電やけがの原因になることがあります。

■充電池やインクカートリッジは、幼児の手の届かない所に保管してください。

■インクが皮膚に付いたときは、すぐに洗い流してください。
インクが皮膚に付いたままにしておくと炎症を起こす原因になることがあります。もし不快な状態が続くようなときは、医師へ相談ください。

■インクカートリッジのノズル部を触らないでください。
また、インクカートリッジを落としたり、振ったりしないでください。
インクが漏れて衣服や周囲を汚す原因になります。
また、インクが衣服などに付くと洗濯しても落ちません。

1 章

準備

ご使用の前に知っておいていただきたい
ことや、必要な準備について説明します。

特長

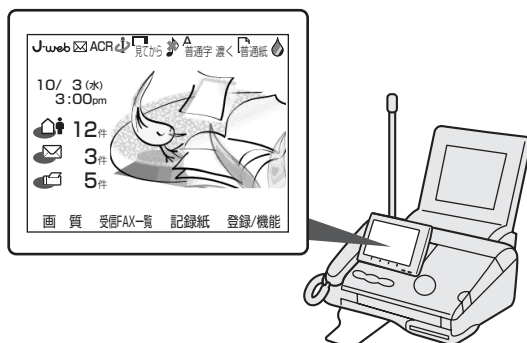
カラーコピー／カラーファクス送受信

インクジェット方式により、普通紙でコピーやファクス受信ができます。
記録紙は普通紙を50枚までセットできます。また、コート紙（30枚まで）や光沢紙（20枚まで）をセットするとよりきれいにカラープリントできます。
はがきは20枚までセットできます。

コードレスカラーハンドコピー（2-46～2-53ページ）

ノートなどのとじ込み原稿も切り取らずにカラーコピーできます。コードレスなので本体から離れた場所でもハンドコピーで読み取りができます。

大画面漢字表示カラー液晶ディスプレイ（親機）見てからプリント機能

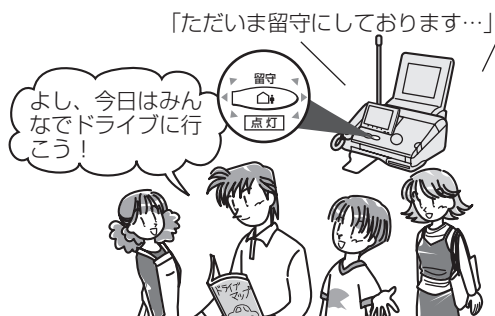
大画面液晶ディスプレイに漢字で見やすく表示します。また、ファクスをメモリー受信したデータを表示したり（2-71～2-73ページ）、ハンドコピーに記録したデータの画像を表示したり（2-51ページ）することができます。

漢字表示液晶ディスプレイ付コードレス子機

漢字表示液晶ディスプレイで電話番号や名前を表示。子機の操作でファクス送受信はもちろん、録音を再生することもできます。また、必要に応じて子機は合計４台まで増設できます。

マルチファンクションキーで選べる電話帳（2-11～2-25、2-60、2-62ページ）

親機と子機それぞれに、100人分×２番号まで登録できる電子電話帳を搭載しています。
電話帳に登録すると、マルチファンクションキーで相手の方を選んで電話やファクス送信ができます。
しかも、どちらかに登録した電話帳データを親機←→子機間で転送できるため、同じデータを2度登録する手間が省けます。

フラッシュメモリー採用 デジタル留守録（2-78～2-86ページ）

デジタルだから巻き戻し不要で「即頭出し再生」「早聞き再生」「遅聞き再生（親機のみ）」ができます。
フラッシュメモリー採用のため、万一停電になっても録音内容は消えません。

“J-web”（ジェイ ウェブ）対応（4-21～4-91ページ）

FAXから手軽にインターネットへアクセスできる、日本テレコムの“J-web”サービスに対応しています。豊富なコンテンツからの画像ダウンロード（待機画面に表示可能）や、メロディーのダウンロード（呼出音として使用可能）などに加え、パソコンや携帯電話などとのEメールのやりとりも可能です。
加入契約が必要です。（有料）

ホームプリント機能（3-2～3-31ページ）

お気に入りの写真やデジタルカメラで撮影した画像などで、カレンダーやシールを作ったり、Tシャツにプリントしたりすることができます。

スーパーACR2（エーシーアール）対応　料金表示機能／インターネットダイヤル／呼出音リフレッシュ（4-2～4-20ページ）

相手の方の番号をダイヤルするだけで、おトクな市外回線を自動的に選びます。しかも料金表示も可能です。
スーパーACR2は申し込み手続きが不要です。回線を接続するだけで、数日後にご利用になれる状態になります。（無料）
また、インターネットを利用した海外通信（インターネットダイヤル）や、最新のヒット曲などを親機の呼出音として使う（呼出音リフレッシュ）などのサービスも提供しています。

ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ対応（4-92～4-116ページ）

電話に出る前やキャッチホンでかかってきた相手の方の番号を確認できます。また、電話帳に登録している相手先からの電話は、名前を表示したり、呼出音を変えたりすることができます。「ナンバー・ディスプレイ」「キャッチホン・ディスプレイ」サービスはNTTとの契約が必要です。（有料）

着メロ作曲機能（3-37～3-44ページ）

子機呼出音のメロディーを自分で作ることもできます。

取扱説明書の使いかた

■インデックス
操作したい項目を簡単に検索できます。

■タイトル
これから行う操作や項目を表しています。

電話帳ダイヤルや再ダイヤルでファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳ボタンを押したあと、マルチファンクションキーの上下で相手の方を選んでファクスを送ることができます。親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分、また1人につき2つの番号を登録できます。(2-11〜2-13、2-20〜2-21ページ)

親機の電話帳でファクスを送る

受話器を置いたまま操作します。

1 原稿ガイドを合わせて **原稿を裏向きにセットする**
- 送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）
- カラーで送るときはカラーボタンを押して、切り替えます。（2-39ページ）

2 画質 を押して画質を選ぶ

3 電話帳 を押してから、▲または▼で相手の方を選ぶ
- ディスプレイで相手の方を確かめます。
- 第1番号にファクスを送るときは、手順3のあと、FAXスタート/決定ボタンを押して送ることもできます。

4 詳細表示 を押す

電話帳1件表示
名前：池田　悟
読み：イケダ　サトシ
番号①：012345678
番号②：09012345678
E-Mail：ikeda@sharp.co.jp
で選択、[決定]で発信, 新 修正 戻る

5 ▲または▼で電話番号（第1番号または第2番号）を選んだあと、FAXスタート/決定 を押す
- 自動的に送信を始めます。
- ファクス送信が終わると自動的に回線が切れます。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

■「通信エラーがありました」と聞こえたら（5-16ページ）

お知らせ
- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。必要に応じて相手の方に確認してください。

2-60

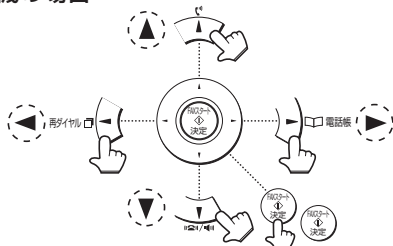
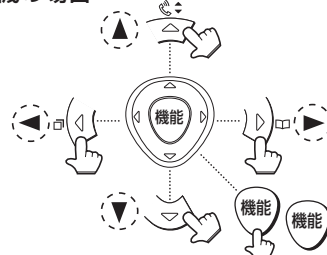
■機能説明
これから行う操作によってできるようになる機能について、イラストなどで、説明しています。

■操作手順
基本的な操作のしかたを説明しています。

■補足説明
操作のしかたに関する補足事項を説明しています。

■お知らせ
知っておくと便利で役に立つことや、制約事項などについて説明しています。

■追加説明
操作の途中で、こまったときのアドバイスや、その他の追加操作について説明しています。

- 画質 はソフトボタン（1-10ページ）です。ソフトボタンは操作によってボタン名を切り替えて表示しています。操作するときは ○ の部分を押してください。
- ◀・▶・▲・▼ はマルチファンクションキーの4方向（左・右・上・下）を押す操作を示しています。
FAXスタート/決定 は親機のFAXスタート/決定ボタン、機能 は子機の機能ボタンを押す操作を示しています。

付属品の確認

このたびは、「インターネット液晶ファクシミリ」をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ **ファクシミリを設置したときは**

接続された際に通信状態を確認することができます。付属の「シャープファクス無料通信テストのご案内」に必要事項を必ずご記入のうえ、シャープファクシミリ通信テストセンター（0120−364889）までファクスでお送りください。受信状態を診断して通信結果をお送り致します。（ファクス送信していただく時間帯によっては、返信に数日かかる場合もあります。）

お知らせ

- この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（5-30〜5-31ページ）
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

ご使用の前に知っておいていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

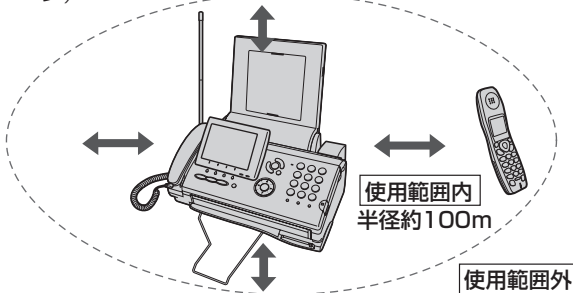
この製品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要** となります。
詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

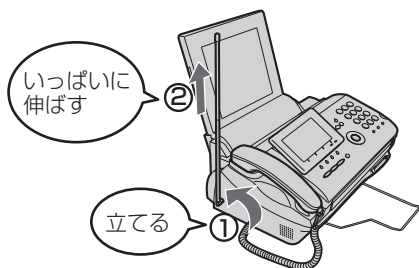
この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。

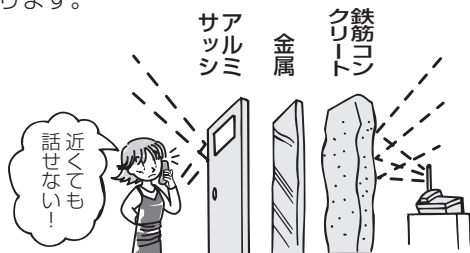
This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

コードレス子機について

■ 通話ができる範囲を確かめる

子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、半径約100mです。（直線見通し距離）
内線通話しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。（2-31～2-32ページ）

■ 親機のアンテナは立てて、伸ばす

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナを必ず立てて伸ばしてください。
また、子機で通話中に親機のアンテナにさわると雑音が入ることがあります。

■ 親機と子機の間に障害物のある場所で使わない

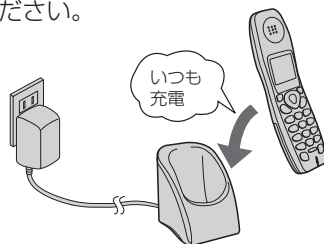
マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

■ 雑音が入ることがあります

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、雑音が入ることがあります。

■ "傍受"にご注意ください

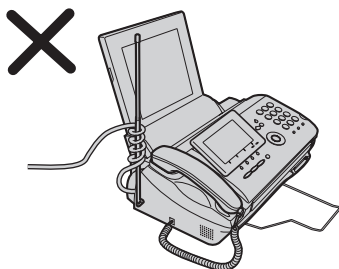
この製品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。
傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ 子機はいつも充電器に戻しておく

子機は、いつも充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■ **子機の呼出音は、遅れて鳴ります**

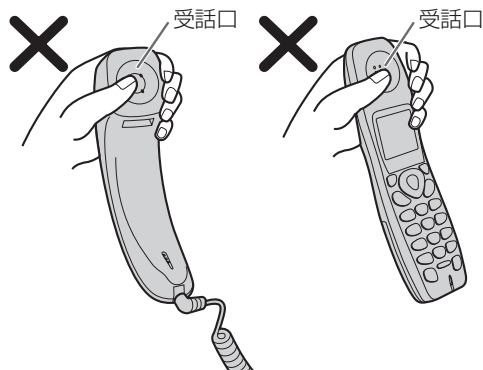
電話がかかってくると、はじめに親機の呼出音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の呼出音も鳴ります。

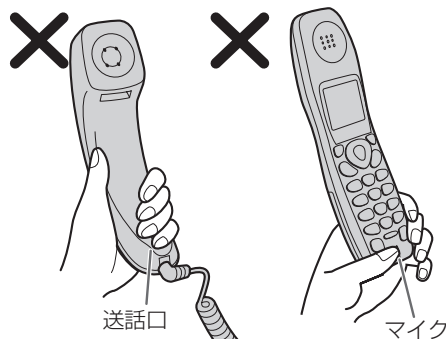
■ **アンテナにコードを巻き付けない**

親機の電源コードや電話機コード、充電器のACアダプタケーブルをアンテナに巻き付けないでください。着信時に子機の呼出音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。

■ **取り扱いについて**

ご近所でコードレス電話機が使われているときは、正しく動作しないことがあります。
こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ **受話口やスピーカーの穴をふさがない**

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。
また、通話中に受話器コードにさわると雑音が入ることがあります。

■ **送話口（マイク）をふさがない**

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ **子機や充電器を設置するときは**

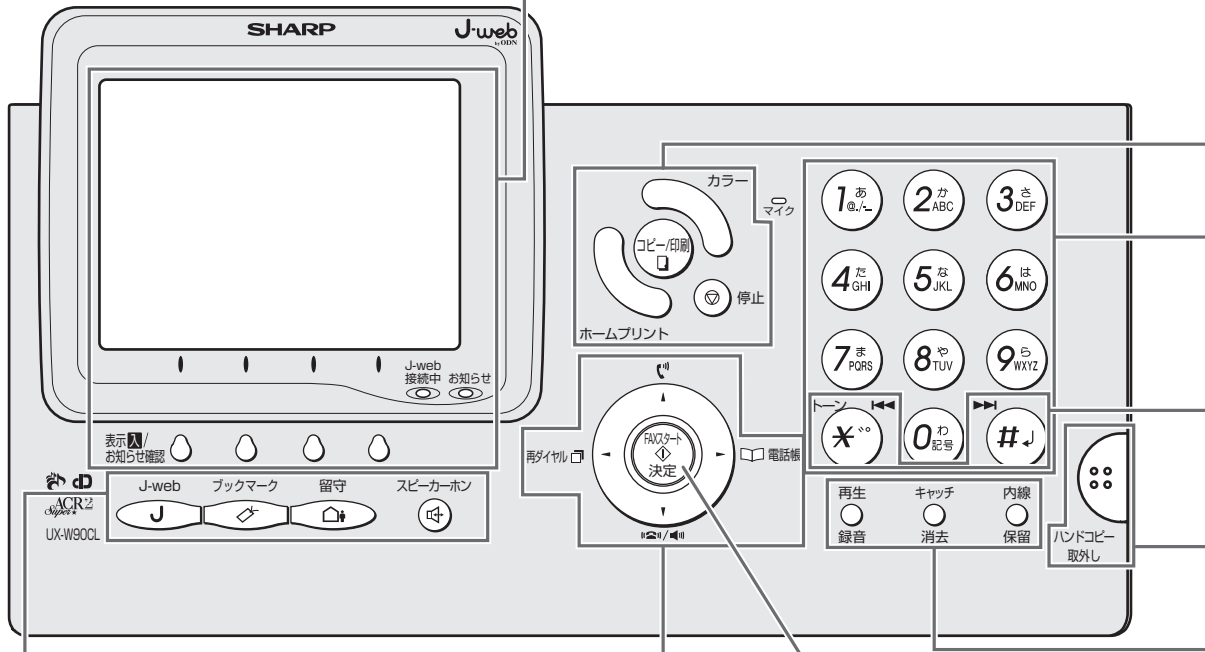
親機（ファクシミリ本体）や他の増設（付属）子機、PHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）
子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

内蔵のリチウム電池について

- ●本体の時計はリチウム電池で動いています。
- ●リチウム電池の寿命は、連続的に電源コードを抜いた状態で、約5年間です。
- ●リチウム電池の交換は、お買いあげの販売店やシャープサービス窓口へご依頼ください。（有料）

※この製品には、当社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントを搭載しています。ただし、絵記号など、一部LCフォントでないものもあります。

※本製品には、当社が独自に開発したアニメーション技術「E-アニメータ」を搭載しています。
本ソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

各部のなまえとはたらき

J-webボタン
（4-21～4-91ページ）
インターネットへのアクセスや、Eメールを利用するときに使います。

ブックマークボタン
（4-33ページ）
"J-web"ご使用時、登録されているブックマークからページを表示するときに使います。

留守ボタン（表示ランプ兼用）
（2-80～2-81ページ）
外出時、留守番電話にするときに使います。

スピーカーホンボタン
（2-8，2-10，2-56ページ）
受話器を使わずにお話しするときやファクスするときに使います。

マルチファンクションキー
登録や設定する項目を選ぶときや、電話帳で相手の方を選ぶときに使います。
また、押す方向によって次の機能を兼用しています。

●**上キーは、（音量）と兼用**
（1-28ページ）
受話音量を変えるときに使います。

●**下キーは、（音量）と兼用**
（1-28ページ）
呼出音量、スピーカー音量を変えるときに使います。

●**左キーは、再ダイヤル と兼用（2-29，2-61ページ）**
同じ相手の方にもう一度ダイヤルするときに使います。
また、電話番号の登録で待ち時間（ポーズ）を入れるときに使います。

●**右キーは、電話帳と兼用**
（2-11，2-16～2-19，2-60ページ）
電話帳で相手の方に電話をかけるときに使います。

FAXスタート／決定ボタン
（2-54～2-55，2-66ページ）
ファクスを送るときや受けるときに使います。また、登録操作をするときにも使います。

液晶ディスプレイ(1-10ページ)
ソフトボタン（1-10ページ）
J-web接続中
「J-web」に接続している間、緑色のランプが点灯しています。
お知らせ
メモリー受信があるときや、エラーメッセージが待機画面に表示されているとき、赤色のランプが点灯してお知らせします。

表示入/お知らせ確認
液晶ディスプレイが消灯しているときは、右側の4つのボタンを押すとディスプレイが点灯し、待機画面になります。
「お知らせ」ランプが点灯しているときは、これらのボタンを押してメッセージを確認してください。

カラーボタン（2-39ページ）
カラーコピーするときや、カラーの原稿をファクスで送るときに使います。

コピー／印刷ボタン（2-43～2-45ページ）
原稿をコピーするときに使います。
また、見てからプリント機能で確認したファクスのメモリー受信データをプリントするときに使います。
メールサービスやウェブサービスご利用時のプリントにも使います。

停止ボタン
操作を途中で止めるときや、送信を途中で止めるときなどに使います。
ウェブサービスご利用時には、回線を切断する、ウェブサービスを終了するときに使います。

ホームプリントボタン（3-2～3-31ページ）
おたのしみ印刷機能を使うときに使います。
また、デジタルカメラの画像をプリントするときに使います。

ダイヤルボタン
電話をかけるときや、文字入力するとき、登録操作を行うときに使います。

トーン／⏮戻しボタン（2-82ページ）
ダイヤル回線を利用している場合、プッシュホンサービスを利用するときに使います。
また、再生中に録音内容を聞き直したり、１つ前の録音内容を聞いたりするときに使います。

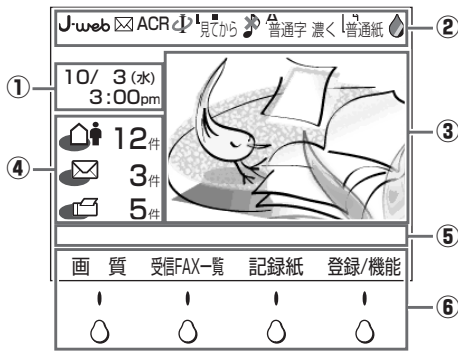
⏭送りボタン（2-82ページ）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。
Eメールの本文入力中は、「↲」（改行）ボタンとして使います。

ハンドコピー取外しボタン（2-46ページ）
ハンドコピーを取り外すときに押します。

再生／録音ボタン（2-82、3-36ページ）
録音内容を再生するときに使います。
押すごとに、標準、早聞き（1.5倍速）、遅聞き（0.5倍速）に切り替わります。
また、通話中に録音したりメモを録音したりするときに使います。

内線／保留ボタン（2-7，2-31，2-33，2-35ページ）
子機と内線でお話しするときや、相手の方を保留メロディーでお待たせするときに使います。

キャッチ／消去ボタン（2-77，2-84ページ）
録音などを消したりするときに使います。また、キャッチホンサービスを利用するときに使います。

液晶ディスプレイ
待機画面（使用していないときは）では、下記のようにファクシミリの状態を表示します。

①日付・時間表示エリア
日付・時刻を表示します。

②設定状態表示エリア

J-web
"J-web"のサービスが使えるときに表示します。

ACR
スーパーACR2のサービスが使えるときに表示します。

インターネットダイヤルのサービスが使えるときに表示します。

見てから
ファクスを受信したとき、すぐに記録紙にプリントしないで、ディスプレイで確認できる設定にしているときに表示します。

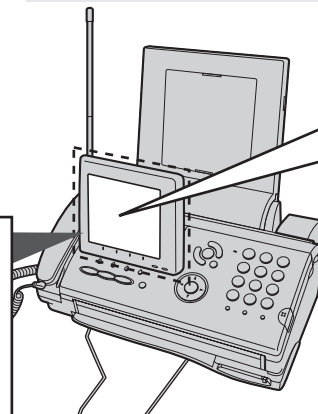
親機の呼出音を鳴らないよう設定しているときに表示します。

A 普通字 濃く
コピーやファクスの画質・濃度設定で選んだ画質・濃度を表示します。図では「普通字：濃く」の設定になっています。

②（続き）

普通紙
記録紙の設定を普通紙モードにしているときに表示します。「**コート紙**」、「**光沢紙**」、「**クイック**」に切り替えることもできます。

カラーインクカートリッジをセットしたときはカラーで、黒インクカートリッジをセットしたときはモノクロ（白黒）で表示します。

③キャラクター表示エリア
工場出荷時はE-アニメータで作成されたアニメーション（小鳥のいたずら）を表示しています。別のアニメーションに変えたり、"J-web"からダウンロードした画像、デジタルカメラで撮影した写真を表示することができます。

④メモリー状態表示エリア

（留守録音件数表示）
留守録やメモ録音している件数を表示します。

（受信メール件数表示）
メールサービス利用時に、受信箱に保存しているメールの件数を表示します。

（FAXメモリー受信件数表示）
メモリー受信している件数を表示します。

⑤エラー／メッセージ表示エリア
「**通信エラー**」「**原稿がつまっています**」などのエラー表示や「**メモリー受信があります**」などのメッセージを表示します。

⑥ソフトボタン表示エリア／ソフトボタン
操作に必要となるボタン名称がディスプレイに表示されますので、表示の下の ◯ を押します。
（表示部分を押しても動作しません。）

液晶ディスプレイのコントラストを調整することができます。
①登録/機能ボタンを押す
②▲または▼で「画面設定」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
③▲または▼で「液晶コントラスト調整」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
④◀または▶で調整する

液晶コントラスト調整
淡い ■■■■■ 濃い

⑤FAXスタート/決定ボタンを押す
⑥停止ボタンを押す

お知らせ

- **液晶ディスプレイは、操作中に約3分間放置すると、自動的に待機画面に戻ります。待機画面で約4分間放置すると、省電力のため自動的にバックライトが消え、真っ暗になります。（故障ではありません。）表示入/お知らせ確認ボタンを押したり、操作をするとまた点灯します。**
- 低温の場所では、バックライトが点灯してもすぐには明るくなりません。元の明るさになるまで約30秒間お待ちください。
- 液晶ディスプレイの角度を調節するときは、ゆっくりと調節できる範囲で動かしてください。速く動かしたり、調節できる範囲以上に起こそうとすると、故障の原因となります。

アンテナ

記録紙カセットカバー

ホッパーカバー

受話器

スピーカー
録音の再生やスピーカーホンで通話しているときなど、ここから聞こえます。

受話器コード

記録紙排出口
記録紙がここから出てきます。

記録紙トレイ

原稿挿入口
ここに原稿をセットします。

マイク
スピーカーホンで相手の方とお話しするときに使います。

原稿ガイド
原稿の幅に合わせます。

原稿排出口

カラーハンドコピー
ノートなどのとじ込み原稿をコピーしたり、ファクスを送ったりするときに使います。

PCカード挿入口
ここにPCカードをセットするとデジタルカメラプリント機能が使えます。

記録紙カセット

予備インクカバー

通気孔

差し込みプラグ

電源コード

アース端子

受話器接続端子
受話器コードを接続します。

回線接続端子
電話機コードを差し込みます。

増設電話端子
電話機を接続して、増設電話機として使うことができます（3-56ページ）。また、増設した電話機で、停電のときでも電話をかけたり、受けたりすることができます（5-20ページ）。

メモリーランプ

消去ボタン

動作中ランプ

読み取り/停止ボタン
ハンドコピーを使って読み取りを始めるときや、読み取りを止めるときに押します。

ハンドコピー用充電池ふた

画質スイッチ
ハンドコピーで読み取るときの画質を選びます。
（カラー／モノクロ文字／モノクロ写真）

読取幅スイッチ
ハンドコピーで読み取るときの読取幅を選びます。
（はがき／A4／B4）

機能（ファクス）ボタン（2-57，2-68ページ）
登録操作をするときに使います。
また、ファクスを送ったり、受けたりするときに使います。

ホットラインダイヤルボタン（2-28ページ）
ホットラインダイヤルを使用するときに使います。

通話ボタン（表示ランプ兼用）（2-3，2-5ページ）
外へ電話をかけるときや受けるときに使います。

ダイヤルボタン（表示ランプ）兼用

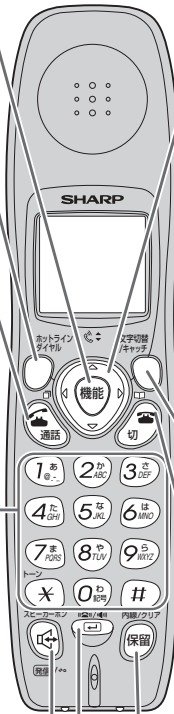
5（戻し）ボタン（2-83ページ）
再生中に録音内容を聞き直したり、1つ前の録音を聞いたりするときに使います。

6（送り）ボタン（2-83ページ）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

9（早聞き）ボタン（2-83ページ）
録音内容を早く聞くときに使います。（1.5倍速）

トーンボタン（3-45ページ）
ダイヤル回線を利用しているときで、プッシュホンサービスを利用するときに使います。

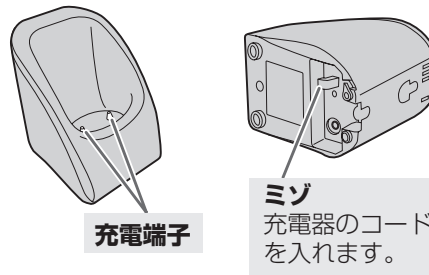
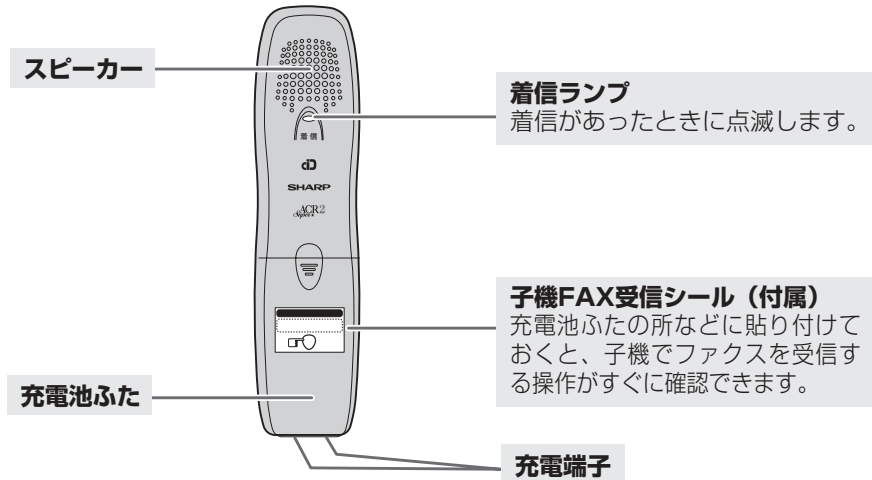
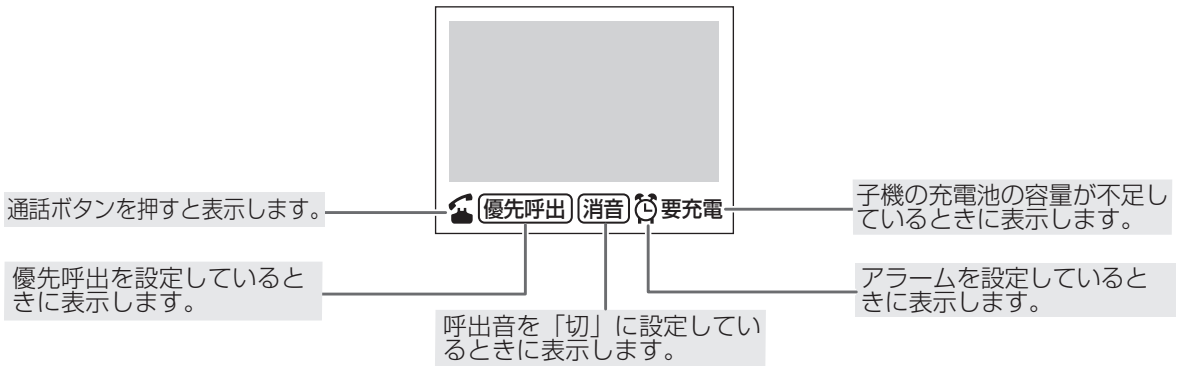
スピーカーホン／発信/゛゜（濁点、半濁点）ボタン（表示ランプ兼用）
子機を置いたまま、ダイヤルするときに使います。
また、文字入力するときに「゛」や「゜」を入力するときに使います。

（音量）ボタン（1-29ページ）
呼出音量やスピーカー音量を変えるときに使います。
また、Eメールの本文を入力しているときは、このボタンを押すと「↵」（改行）になります。

マルチファンクションキー
電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。
また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。

- **上下キーは、（音量）（1-29ページ）**
  お話し中に、受話音量を変えるときに使います。
- **左キーは、（再ダイヤル）（2-30，2-63ページ）**
  もう一度、電話をかけ直すときに使います。
  ナンバー・ディスプレイサービスをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。
  また、電話帳などを登録するときで、待ち時間（ポーズ）が必要なときに使います。
- **右キーは、（電話帳）（2-20，2-25ページ）**
  電話帳に登録するときなどに使います。

文字切替／キャッチボタン（1-40，1-45ページ）
文字を入力するとき、カナ入力モードや英字入力モードに切り替えるときに使います。
また、キャッチホンサービスを利用するときに使います。

切ボタン（表示ランプ兼用）
通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。

保留／内線/クリアボタン（2-32，2-34〜2-35ページ）
通話中に、相手の方をお待たせするときや、親機と内線通話をするときに使います。

液晶ディスプレイ

■ **液晶ディスプレイのコントラストを調整するときは（3-55ページ）**

親機を接続する

親機を接続する

必ず手順の番号順に接続してください。

1 付属の受話器コードを、受話器接続端子に差し込み、受話器を受話器台の上に置く

2 付属の電話機コードを、回線接続端子およびご家庭の電話線コンセントに差し込む

3 電源コードのプラグを電源コンセント（AC100V）に差し込む

電話回線を自動的に設定します。（回線種別自動設定）

- プッシュ回線ご利用の時は自動的に回線を設定します。
- 10PPSまたは20PPSの回線をご利用の時は「20PPS」に設定します。10PPS回線をご利用の方は1-16ページの「回線種別を変える（合わせる）ときは」を参考に回線種別を設定してください。

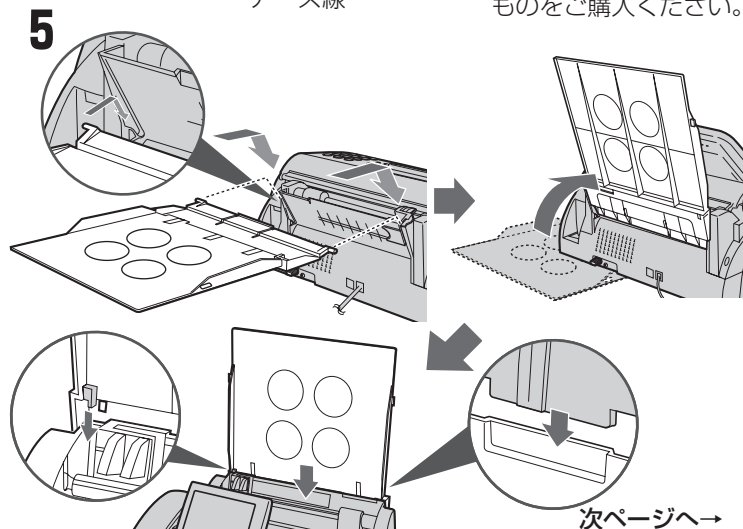
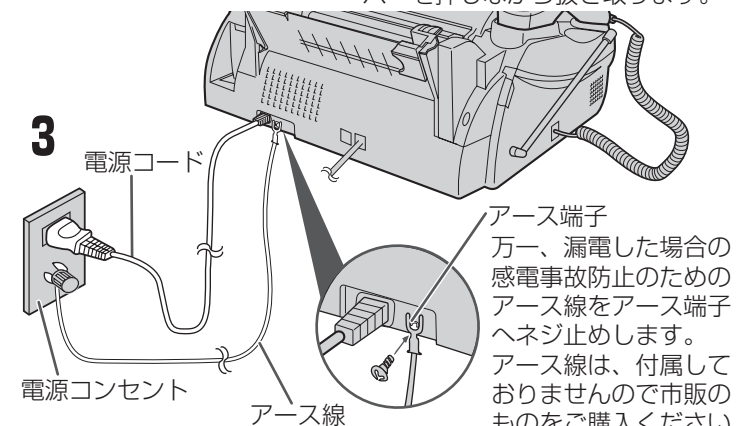
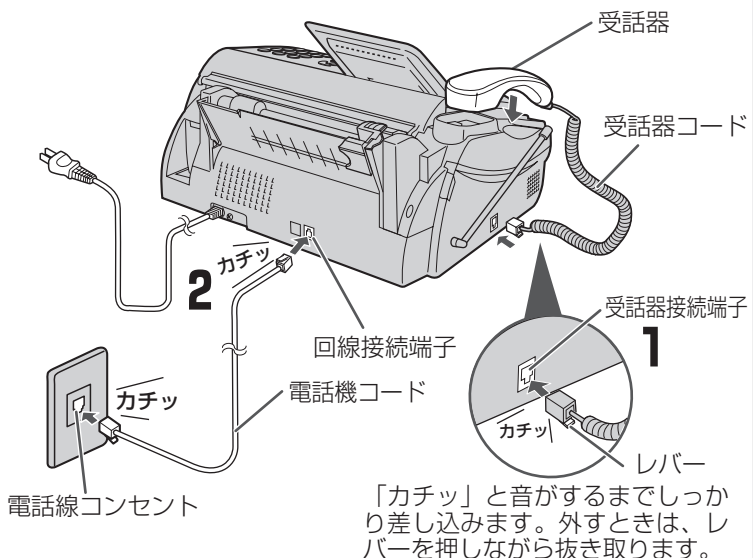
4 スーパーACR2のお知らせが画面と音声で案内されるので、確認後、停止ボタンを押す

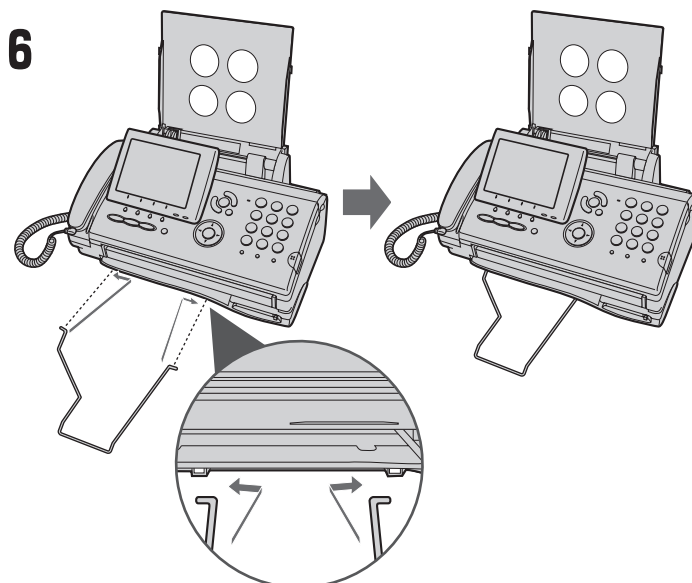
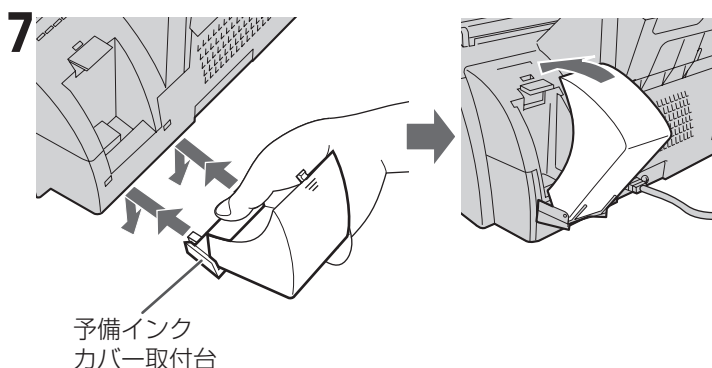
5 記録紙カセットを取り付ける

向きに注意して、図のように取り付けてください。

「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。外すときは、レバーを押しながら抜き取ります。

万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線をアース端子へネジ止めします。アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。

次ページへ→

→つづき

6 **記録紙トレイを取り付ける**

7 **予備インクカバー取付台を持って、予備インクカバーを取り付ける**

8 **アンテナを立てて伸ばす**

アンテナを立てていっぱいに伸ばさないと、電波の届く距離が短くなります。

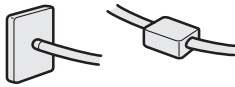
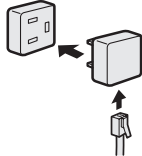
- 約１時間後、ファクシミリが自動的に日本テレコムへ発信（無料）し、数日後スーパーACR2が利用できる状態になります。（4-3ページ）
  スーパーACR2を利用しないときは4-4ページの「拒否発信操作」を行ってください。
- PBX（構内交換機）やホームテレホンなどの内線電話につないだときは、スーパーACR2はご利用になれませんので、4-4ページの「拒否発信操作」を行ってください。

■「回線種別選択」と表示されたときは（1-16ページ）

お知らせ

- 液晶ディスプレイは、操作中に約3分間放置すると、自動的に待機画面に戻ります。待機画面で約4分間放置すると、省電力のため自動的にバックライトが消え、真っ暗になります。（故障ではありません。）表示入/お知らせ確認ボタンを押したり、操作をするとまた点灯します。

■ **コンセントのタイプについて**

● 直接配線の場合（ローゼット／プレート）
最寄りのNTT支店・営業所へご相談ください。

● 3ピンプラグ式コンセントの場合
市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。

■ **「回線種別選択」と表示されたときは**

回線種別自動設定ができませんでした。回線種別が「10PPS」のときは、自動的に設定できません。また、回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。
回線種別が合っていないと電話をかけられなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。
こんなときは(1)～(3)で回線を選んでください。

■ **回線種別を変える（合わせる）ときは**

① 登録/機能ボタンを押したあと、▲ または ▼ で「初期登録」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「回線種別選択」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
③ ▲ または ▼ で回線の種類を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

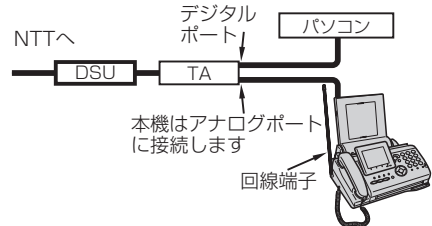
「自動設定」を選ぶと、20PPSまたは、トーン（プッシュホン）回線を利用しているときは自動的に設定されます。ただし、10PPS回線を利用しているときでも「20PPS」に設定されます。電話がかけられないときは「10PPS」に設定してください。

④停止を押す

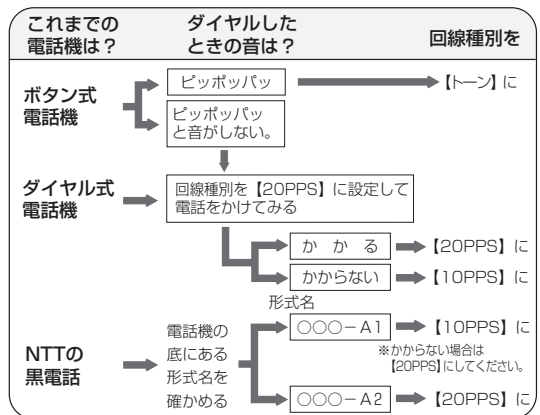
■ **回線種別とは**

電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと電話をかけることができません。
（いずれの回線を利用しているかは、NTTとの契約によります。）

■ **NTTのISDN回線をご利用のときは**

インターネットやパソコン通信にNTTのISDN回線（INSネット64）を利用する場合は、ISDNターミナルアダプター（TA）を用いて本機とパソコンの両方を接続することができます。ISDN回線を利用するには、NTTへ申し込みが必要です。

● ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。
● ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。
● 本機の回線種別はトーン（プッシュホン）に設定してください。

■ **契約している回線の種類がわからないときは**

回線の種類は、次の手順で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTTの支店、営業所にお問い合わせください。

お知らせ

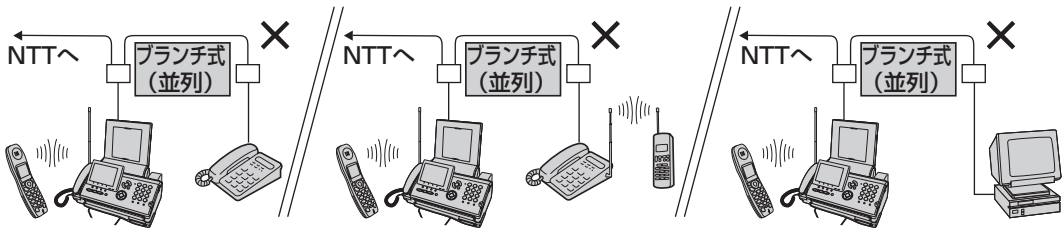
● 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンプロセッサなどに接続されている場合は、回線種別が正しく合わないことがあります。
● 電源を入れると、ファクシミリ本体の底面等、部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
● 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。

この装置について

● この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

接続について

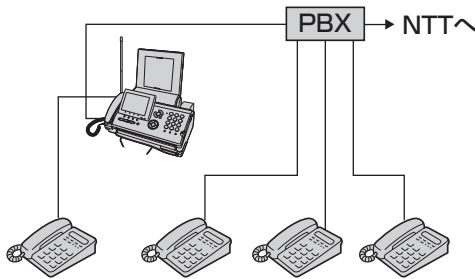
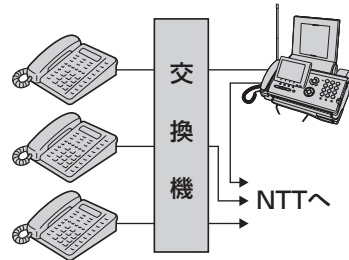
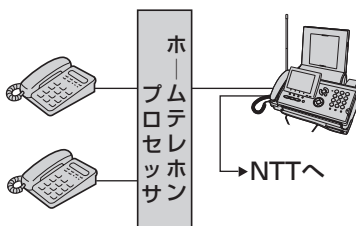
■ ブランチ式（並列）に接続しない

● 下図のように、一つの電話回線を2つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の呼出音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき電送速度が遅くなることがあります。

■ 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサへの接続について

● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサなどへ接続する場合は工事が必要です。
● お使いになるホームテレホンや交換機などの機種によって接続方法が異なります。
● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサへ接続した場合は、スーパーACR2、"J-web"、ナンバー・ディスプレイサービスはご利用になれません。

構内交換機(PBX)の場合

ビジネスホンの場合

● **ビジネスホンとは**
電話回線を2本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

ホームテレホンプロセッサの場合

● **ホームテレホンプロセッサとは**
電話回線1本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

お知らせ

● ホームテレホンプロセッサに接続しても、他の電話機（ホームテレホン）による通話を、本機に転送することはできません。また、ファクスが送られてきたとき、他の電話機（ホームテレホン）で受けるとファクス受信できません。

インクカートリッジをセットする

はじめてお使いになるときは、付属のカラーインクカートリッジをセットしてください。
（黒インクカートリッジは付属していません。ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

インクカートリッジは、当社推奨品のカラーインクカートリッジ（UX-IK30C）または、黒インクカートリッジ（UX-IK30B）をお使いください。（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

インクカートリッジをセットする

待機画面を表示しているときに、この手順を行ってください。

1 操作パネルを開ける

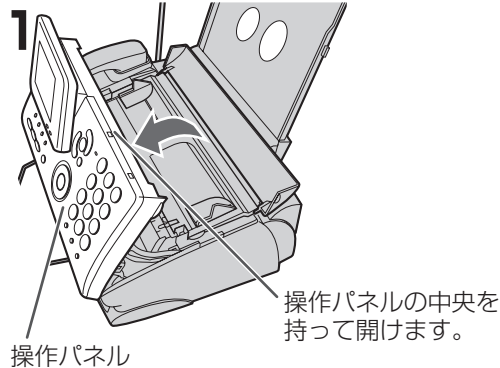
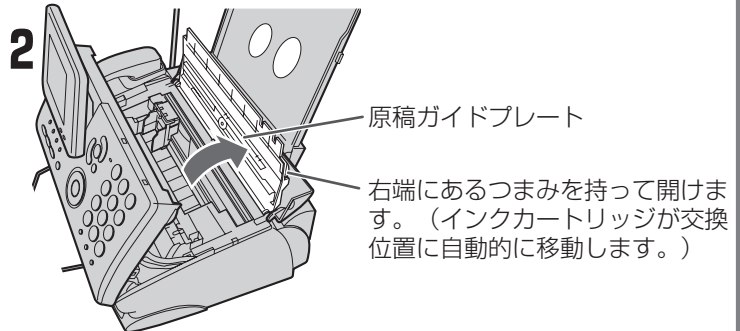
1

操作パネルの中央を持って開けます。

操作パネル

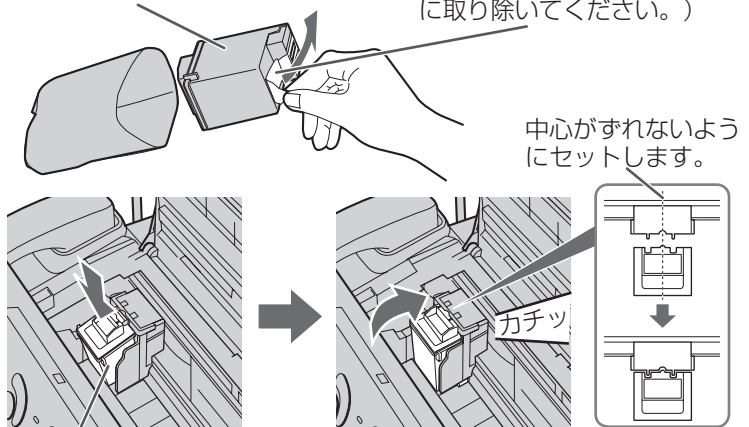
2 原稿ガイドプレートを開ける

原稿ガイドプレート

右端にあるつまみを持って開けます。（インクカートリッジが交換位置に自動的に移動します。）

3 インクカートリッジをセットする（インクカートリッジと本体内部の接続端子（金属部）を指でさわらないでください。）

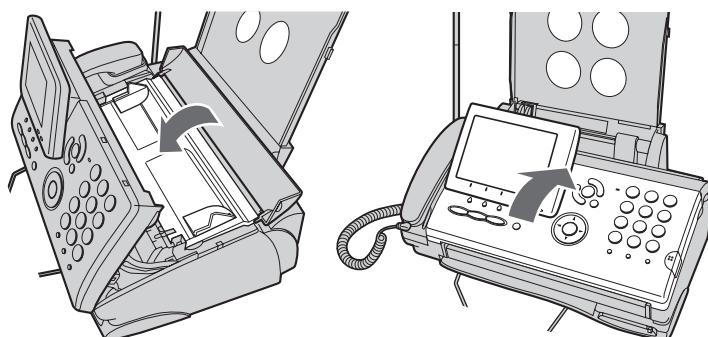
新しいインクカートリッジを袋から取り出します。

保護シートをはがします。（青色の保護シートも完全に取り除いてください。）

中心がずれないようにセットします。

ななめに立ててからセットします。

次ページへ→

→つづき

4 原稿ガイドプレートを閉めてから、操作パネルを閉める

●原稿ガイドプレートは必ず閉めてください。

5 「ピピピ」と鳴り、右のようにディスプレイに表示されたら、

1 を押したあと、

FAXスタート 決定 を押す

カートリッジ情報設定
交換したカートリッジは?
1新しい 2古い
1,2で選択してください

●「ピー」と鳴ってセットが完了します。

■ **インクカートリッジのプリント枚数について**

新しいインクカートリッジを使用したときのプリント枚数は次の通りです。（ただし使用環境によって異なる場合もあります。）

● カラーインクカートリッジをセットしたとき

条 件	枚数
A 4 用紙1枚に各色7.5%プリントした場合	約75枚
当社標準A 4 カラー原稿※ 1	約160枚（普通紙モード） 約200枚（クイックモード）

● 黒インクカートリッジをセットしたとき

条 件	枚数
A 4 用紙1枚に5%プリントした場合	約330枚
当社標準A 4 モノクロ原稿※ 2	約870枚（普通紙モード） 約1100枚（クイックモード）

（連続印刷したときの枚数）

※ 1 当社標準A4カラー原稿
・ A4サイズに写真Ｌサイズ１枚と約170字程度の文字をプリントした原稿

※ 2 当社標準A4モノクロ原稿
・ A4サイズに約700字程度の文字をプリントした原稿

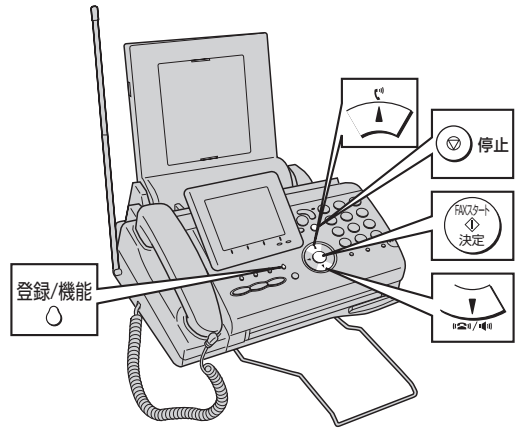
■ **インクカートリッジの取り扱いについて**

ご使用済みのインクカートリッジはビニール袋などに入れて、地域の条例にしたがって、お捨てください。（インクカートリッジは樹脂や一部金属などでできています。黒インクは水性顔料、カラーインクは水性染料です。）

お知らせ

● 当社推奨品のインクカートリッジ以外はご使用にならないでください（6-2ページ）。推奨品以外のインクカートリッジは取り付けられません。また、故障やプリントかすれの原因になることがあります。
● 交換の途中で電源コードを抜いて放置しないでください。乾燥などでインクカートリッジが使えなくなることがあります。
● きれいにプリントするため、開封後のインクは半年以内に使い切ることをおすすめします。
● インクカートリッジを分解したりインクを補充したりしないでください。詰まりや破損の原因になります。
● 取り付ける直前まではインクカートリッジの包装を開けないでください。乾燥、ごみの付着、また周囲の汚損の原因になります。
● 内部のケーブルをひっぱったり、曲げたりしないでください。故障の原因になります。
● インクカートリッジと本体内部の接続端子（金属部）は指でさわらないでください。故障の原因になることがあります。

契約しているサービスを利用する（ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ）

お使いの電話回線が、ナンバー・ディスプレイ（4-92〜4-113ページ）、キャッチホン・ディスプレイ（4-114〜4-116ページ）を利用契約しているときは、本機をお使いになる前に、利用設定を必ず「使用する」に設定してください。
はじめは、2つのサービスとも「使用しない」に設定されています。

ナンバー・ディスプレイを利用設定する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録/機能 を押してから、▲ または ▼ で「初期登録」を選び FAXスタート/決定 を押す

2 ▲ または ▼ で「サービス利用設定」を選び FAXスタート/決定 を押す

3 ▲ または ▼ で「ナンバーディスプレイ」を選び FAXスタート/決定 を押す

1 使用する
2 使用しない
で選択，[決定] で決定

4 ▲ または ▼ で「使用する」を選び FAXスタート/決定 を押す

使用する
に設定しました

● 「使用する」に設定されます。

5 停止 を押す

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

■ **ナンバー・ディスプレイを利用しないときは**
手順4で「使用しない」を選びます。

お知らせ

● ナンバー・ディスプレイの利用契約後は、必ず利用設定を「使用する」にしておいてください。「使用しない」に設定していると、正常に電話を受けられなくなります。
● 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンプロセッサへ接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイの利用設定を「使用しない」に設定してください。

キャッチホン・ディスプレイを利用設定する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録/機能 **を押してから、** ▲ **または** ▼ **で「初期登録」を選び** FAXスタート 決定 **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で「サービス利用設定」を選び** FAXスタート 決定 **を押す**

3 ▲ **または** ▼ **で「キャッチホンディスプレイ」を選び** FAXスタート 決定 **を押す**

4 ▲ **または** ▼ **で「使用する」を選び** FAXスタート 決定 **を押す**

- 「使用する」に設定されます。

5 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

■ **キャッチホン・ディスプレイを利用しないときは**

手順4で「使用しない」を選びます。

お知らせ

- サービスを契約しているのに、利用設定を「使用しない」に設定していると、電話を受けられないことがあります。

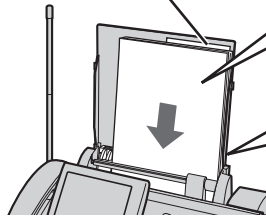
記録紙をセットする

普通紙は、一度に50枚まで、コート紙は、一度に30枚まで、A4サイズ光沢紙やはがきは、一度に20枚まで、ハガキ光沢紙は、一度に10枚までセットできます。
シールプリント用シール紙、アイロンプリント用のTシャツ転写用プリント紙は１枚ずつセットします。

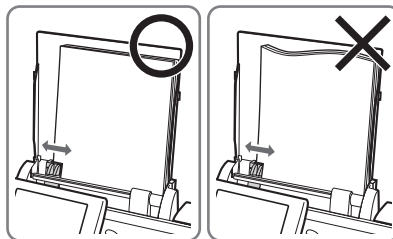
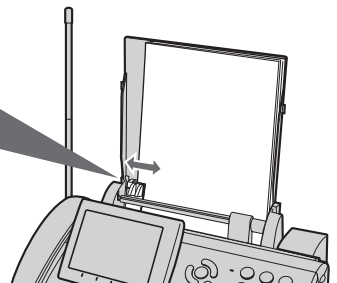
記録紙をセットする

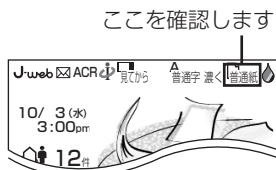
1 記録紙カセットに記録紙を表向きにセットする

種類	枚数
•普通紙	一度に50枚まで
•コート紙	一度に30枚まで
•光沢紙 •はがき	一度に20枚まで
•ハガキ光沢紙	一度に10枚まで
•シール紙（フォト光沢シール16分割） •Tシャツ転写用プリント紙	一度に１枚

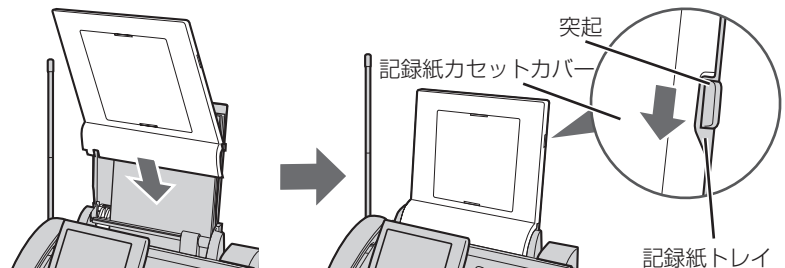
●指定枚数以上セットしないでください。
●記録紙カセットの右側に記録紙がそうようにして、底に軽く当たるまで差し込みます。
A4サイズの記録紙をセットしたときはラベルの線を目安にしてください。

記録紙をよくさばいてからセットしてください。
さばかずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。

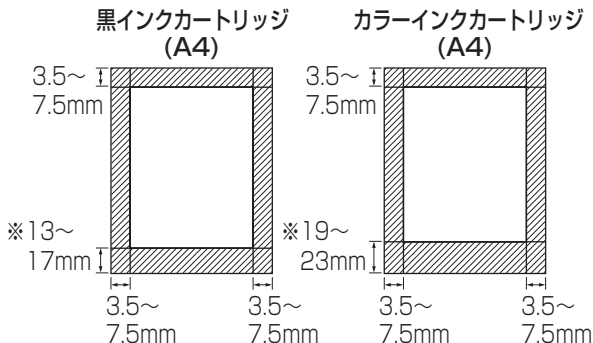
記録紙の枚数は記録紙カセットの内側にはってあるラベルの線を目安にしてください。

2 記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせる

●たわまないように記録紙ガイドを合わせてください。

3 記録紙 を押して記録紙の種類を選ぶ

普通紙をセットしたとき	「普通紙」または「クイック」を選ぶ
コート紙をセットしたとき	「コート紙」を選ぶ
光沢紙をセットしたとき	「光沢紙」を選ぶ

ここを確認します

●はがき（UX-P40HG）をセットしたときは「光沢紙」を選んでください。
●シール紙やTシャツ転写用プリント紙をセットしたときは選ぶ必要はありません。
●「クイック」モードに設定すると、インクの使用量を少なくして早くプリントできます。（プリントが少し粗くなります。）
●黒インクカートリッジをセットしているときは「光沢紙」を選ぶことはできません。

4 記録紙カセットカバーを取り付ける

■ **プリントできる範囲**

記録紙の端の部分▨にはプリントできません。

セットできる原稿についてもご確認ください。（2-36ページ）

※この余白になる部分を小さくすることができます。ただし、記録紙送りの精度が低下するため、プリントの一部が乱れたり汚れたりすることがあります。（印刷範囲設定 3-53ページ）

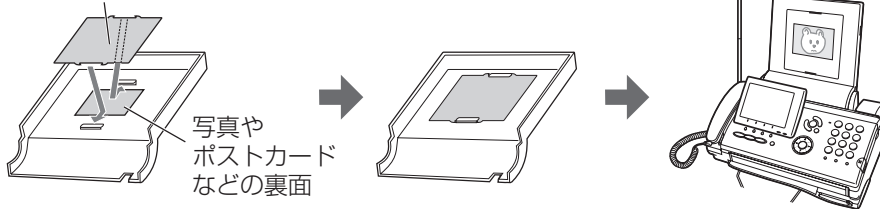
■ **記録紙の種類について**

記録紙は、当社推奨品をお買い求めください。
（ご注文はお買いあげの販売店へお申し付けください。）

- ●Ａ４サイズ普通紙 [PPC-A4M]
- ●Ａ４サイズコート紙 [UX-P21A4]
- ●Ａ４サイズ光沢紙 [UX-P40A4]
- ●ハガキ光沢紙 [UX-P40HG]
- ●フォト光沢シール16分割 [PW16S-5]
  コダック株式会社製
- ●Tシャツ転写用プリント紙 [JP-TPR4(A4)]
  サンワサプライ株式会社製

（カラープリントするときに、コート紙または光沢紙をご使用になりますと、より高品位な印刷ができます。）

■ **記録紙カセットカバーにお好きな写真やポストカードなどを入れたいときは**

定形ポストカードが縦または横に入る大きさのカードを入れることができます。（フォトフレーム付）

お知らせ

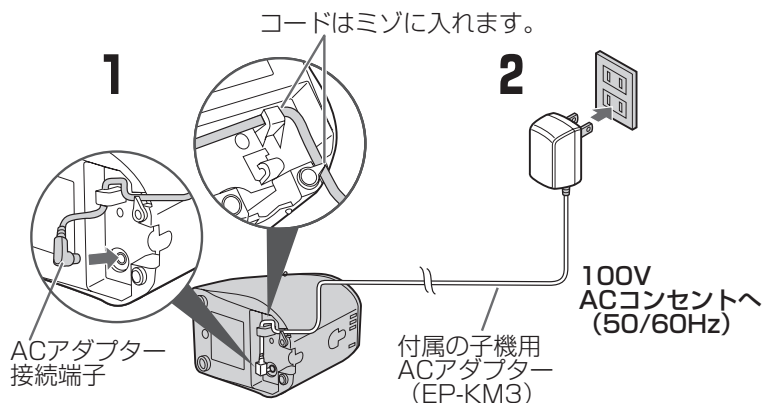
- ● しわや折り目のあるもの、また破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- ● プリント中に記録紙カセットを引き抜かないでください。
- ● 長期間、記録紙カセットに記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。
- ● 当社推奨品以外の記録紙や、規定外の大きさの記録紙（A5／B5サイズなど）をセットすると、インク漏れや、故障の原因になることがあります。
- ● 選んだ記録紙の種類の設定は、電源コードを抜いたり、停電になったときは「普通紙」になることがあります。
- ● ビューカムのオプションであるビデオプリンタ用シート（はがき用）をセットしないでください。
- ● 異なるサイズの記録紙を一度にセットしないでください。プリントがずれたり、本体の内部が汚れたり、故障の原因になったりすることがあります。
- ● A4、はがきサイズ以外の記録紙をセットしないでください。2枚に分割してプリントしたり、プリントがずれたりすることがあります。
- ● セットした記録紙と選んだ記録紙の種類が正しく合っていないと、本体の内部が汚れたり、プリント画像の乱れや、故障の原因になったりすることがあります。
- ● 記録紙は、日光のあたる場所、湿気や高温の場所をさけて保管してください。
- ● 当社推奨品の記録紙以外をご使用になると、記録紙づまりや、プリントかすれ、故障などの原因になることがあります。
- ● 記録紙には印刷面があるものがあります。記録紙カセットにセットするときは、印刷面が表になるようにセットしてください。
- ● 記録紙にあった記録紙の種類に設定してください。（異なる設定にするときれいにプリントできません。）
- ● 記録紙カセットカバーは必ず取り付けて使用してください。給紙不良の原因になります。
- ● 光沢紙でプリントすると記録紙送りのためのあとが付くことがありますが故障ではありません。

充電器を接続する

充電器にACアダプターを接続して100V電源コンセントに差し込みます。また、子機を壁に掛けて使うこともできます。

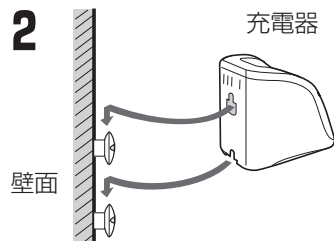
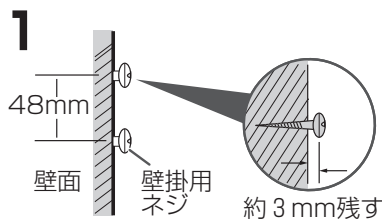
充電器を接続する

1 **充電器にACアダプターを接続する**

2 **ACアダプターをコンセントに差し込む**

子機を壁に掛けて使う

付属の壁掛け用ネジを使います。

1 **付属の壁掛け用ネジをしっかりとした壁や柱に取り付ける**

2 **充電器を取り付ける**

●壁や柱に取り付けるときは、しっかりとした、一定の厚み（2cm以上）のある所へ取り付けてください。

●ACアダプターのコードを壁面と充電器の間にはさまないようにしてください。

お知らせ

● 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。
● 子機の充電器は、充電端子が汚れていたり、異物がついていたりすることがあります。いつもきれいにしておいてください。（5-4ページ）
● 充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。
● 子機や充電器を設置するときは、親機（ファクシミリ本体）やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

子機を充電する

はじめてお使いになるときは、

必ず10時間以上充電してください。

（充電池の容量が少なくなっていることがあります。）いっぱいに充電すると、約6時間、連続して通話できます。

通話時間について

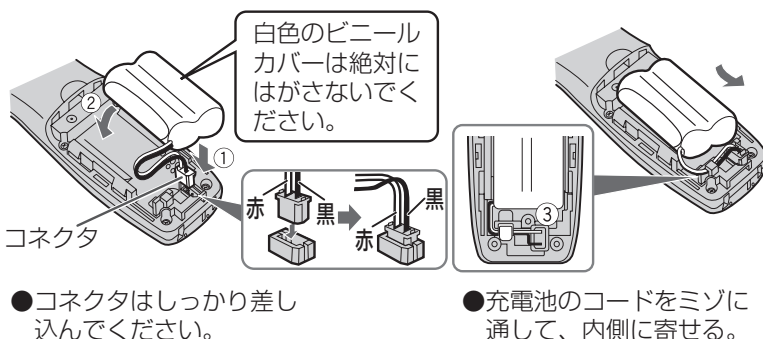
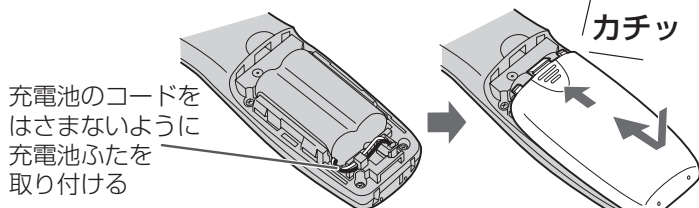
いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は

- 通話状態で**約6時間**です。
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、"ピッピッ…"と警報音が鳴り、約1分後に通話が切れます。（子機のディスプレイに"要充電"が表示されます。）このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。
- スピーカーホン通話（2-8～2-10ページ）でお話しすると通話できる時間は短くなります。

子機を充電する

1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる

●コネクタはしっかり差し込んでください。

●充電池のコードをミゾに通して、内側に寄せる。

2 充電池ふたを取り付ける

3 子機を充電器に置く

はじめてお使いになるときは、
切ボタンが点灯してから

10時間以上充電

してください。

子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り（切ボタン点灯）、充電が始まります。

- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
- ボタン面を手前に向けて置いてください。逆向きに置くと充電されません。
- はじめて子機を充電するときは、切ボタンが点灯しても、液晶ディスプレイに"**子機1**"が表示されるまで時間がかかることがあります。
- 充電中は充電器や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
- ディスプレイに表示される"**子機1**"などの番号は、子機の内線番号です。内線通話やとりつぎ転送するときに使います。（2-31，2-33，2-35ページ）

充電池の寿命

- 充電池にも寿命があります。古くなると充電しても使えなくなります。
- 使用頻度にもよりますが、約2年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは新しい別売の充電池に交換してください。

お知らせ

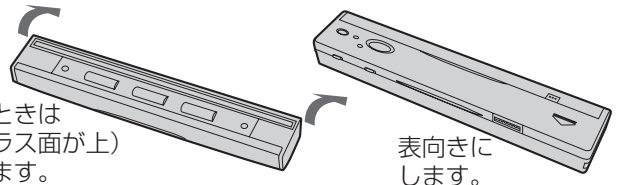
- 旅行や長期不在により子機を使用されないときは、充電池のコネクタを外しておくことをおすすめします。

コードレスカラーハンドコピーを充電する

はじめてお使いになるときは、
必ず 8 時間以上充電
してください。（充電池の容量が少なくなっていることがあります。） いっぱいに充電すると、約30分連続して使用できます。

使用時間について
いっぱいに充電した状態（8 時間以上）で連続して使用できる時間は
約30分です。
また、動作待機時間は約90分です。（周囲温度約25℃でお使いになった場合の目安の時間です。使用条件によって使用時間は異なります。）
充電容量がなくなると、"ピッピッ…"と警告音が鳴り、5分後に電源が切れて、読み取ったデータが消えてしまいます。読み取ったあと、早めにハンドコピーを本体に取り付けてください。

コードレスカラーハンドコピーを充電する

1 ハンドコピー取外しボタンを押してハンドコピーを取り外す

2 ハンドコピーを表向きにする

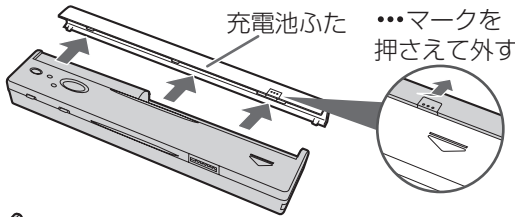
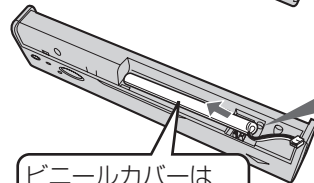
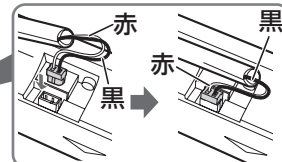
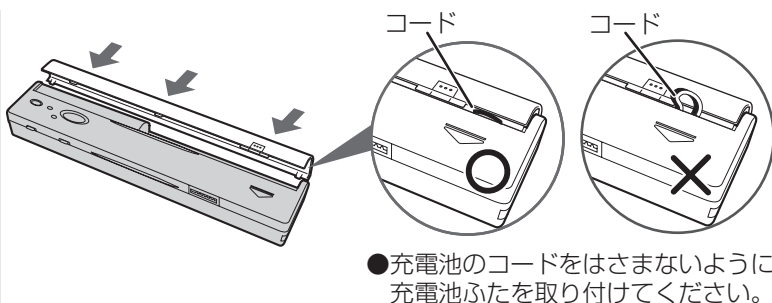
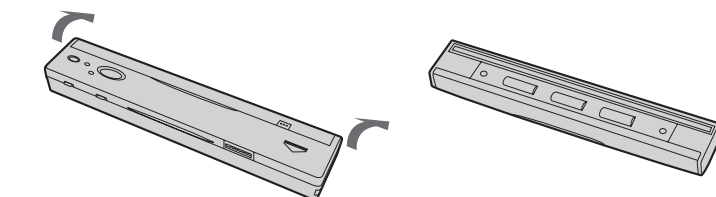
3 ハンドコピーの充電池ふたを取り外す

4 充電池を入れてコネクタを接続する

次ページへ→

→つづき

5 充電池ふたを取り付ける

●充電池のコードをはさまないように充電池ふたを取り付けてください。

6 ハンドコピーを裏向き（ガラス面が上）にする

7 ハンドコピーを本体に取り付ける

●「カチッ」と音がするまで両端をしっかり押して取り付けてください。

はじめてお使いになるときは
8 時間以上充電 してください。

本体に取り付けるだけで充電が始まります。

●ハンドコピーを使わないときは、いつも本体に戻してください。
●充電中はハンドコピーがあたたかくなる場合がありますが、異常ではありません。

■ **ハンドコピーが正しく取り付けられなかったときは**

● 音声で「ハンドコピーをセットし直してください。」と2回お知らせしたあと、ディスプレイに「ハンドコピーを再セット」と表示されます。
正しくセットし直してください。

● ハンドコピーが正しく取り付けられていないときは、原稿をセットしたときに、ディスプレイに「ハンドコピー外れています」と表示され、ファクスを送ったりコピーができません。

お知らせ

● ハンドコピーのガラス面が汚れているときれいに読み取れない場合があります。こんなときは清掃してください。（5-4ページ）

呼出音の大きさや受話音量、スピーカー音量を変える

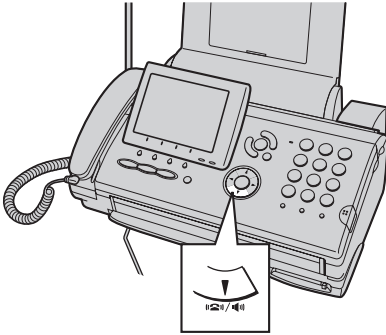
相手の声が聞きとりにくいときは、受話器やスピーカーから聞こえる音の大きさを変えることができます。

親機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

受話器を置いた状態で

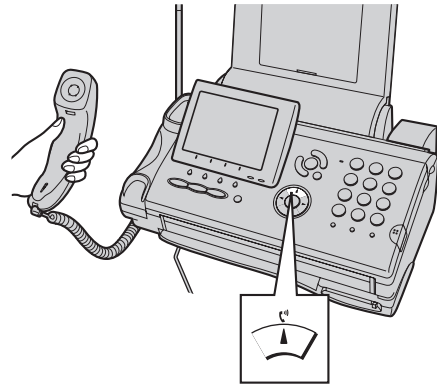
（音量）を押す

※ボタンを押すたびに 5 段階に設定できます。
（音を聞きながら設定してください。音は現在設定されている呼出音で鳴ります。（1-30～1-31ページ））

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

受話器を取って

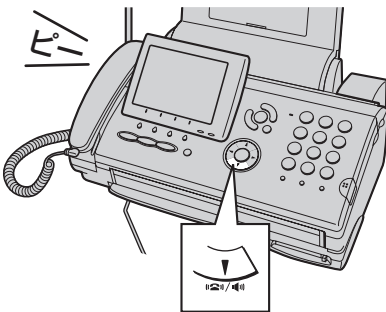
（音量）を押す

※ボタンを押すたびに 5 段階に設定できます。

親機の呼出音を鳴らさないようにするときは

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、液晶ディスプレイの点灯でわかります。

受話器を置いた状態で

（音量）を 3 秒以上（「ピー」音が鳴るまで）押し続ける

ディスプレイにマークが表示されます。

再び、呼出音を鳴らすときは、（音量）ボタンを押します。（マークが消えます。）

● 「切」にしているときでも、内線やドアホンからの呼出音は鳴ります。

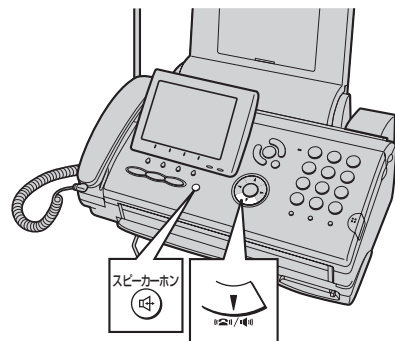
親機のスピーカー音量を変える

スピーカーホンで話しているときや、録音再生時にスピーカーから聞こえる音の大きさ、また、通信時の音声ガイダンス（「ファクスを送信します。」など）の大きさを変えることができます。

スピーカーホン **を押し、**

スピーカーから「ツー」音が聞こえているときに

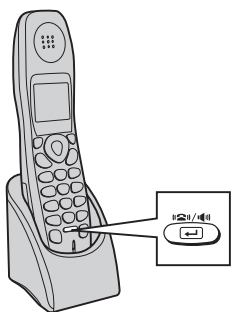
（音量）を押す

※ボタンを押すたびに 5 段階に設定できます。

■ 相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（親機送話音量切替　5-2ページ）

子機の呼出音の大きさを変える

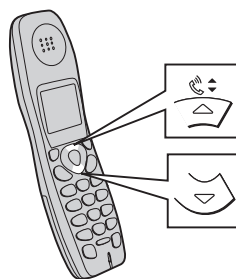
電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で

（音量）を押す

はじめは「大」になっています。
小⟷大の 2 段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。音は現在設定している呼出音で鳴ります。（1-32ページ））

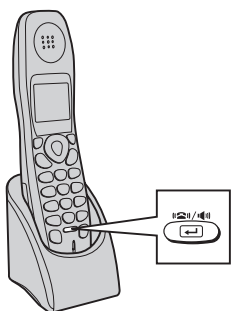
子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

通話中に
大きくするときは を押す
小さくするときは を押す

はじめは「標準」になっています。
標準⟷特大の 2 段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

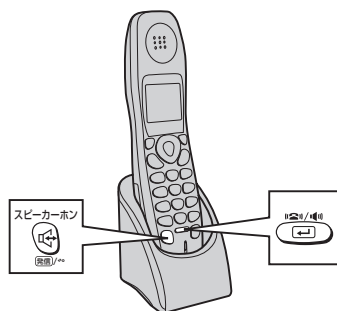
子機の呼出音を鳴らさないようにするには

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、通話ボタンや着信ランプの点滅でわかります。

通話ボタンを消灯させた状態で
（音量）を 2 秒以上（ピー音が鳴るまで）押し続ける

ディスプレイに［消音］が表示されます。
再び呼出音を鳴らすときは （音量）ボタンを押します。
●［消音］に設定しているときでも、内線やドアホンからの呼出音は鳴ります。

子機のスピーカー音量を変える

録音再生時などスピーカーから聞こえる大きさを変えることができます。

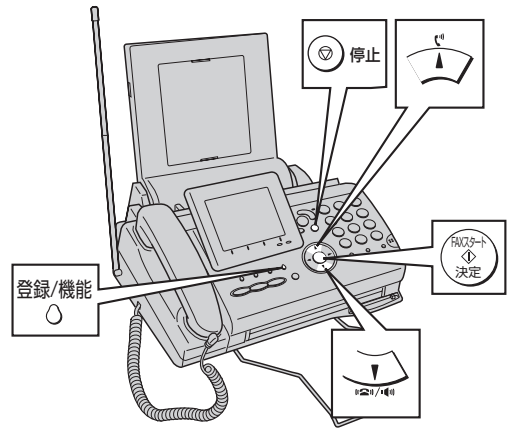
スピーカーホン
を押し、
スピーカーから「ツー」音が聞こえているときに
（音量）を押す

はじめは「標準」になっています。
標準⟷大の 2 段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（子機送話音量切替　5-2ページ）**

■ **子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは（子機受話音量切替　5-2ページ）**

■ **子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を鳴らさないようにするときは（キータッチ音出力　3-54ページ）**

呼出音の種類を変える

電話がかかってきたときの呼出音の種類を変えることができます。
親機の呼出音は、あらかじめ 6 種類内蔵されています。このうち、親機に内蔵されて消すことのできない呼出音3種類(「電話ベル音」「鳥の声」「電子音」)と、消すことのできる呼出音3種類(「春の歌」「トルコ行進曲」「森のくまさん」)があります。
3種類の呼出音を消した場合、呼出音を6種類まで取り込むことができ、最大9種類の中から選べます。
呼出音を取り込むには、日本テレコム(株) 提供の「ハーモニー呼出音メロディーサービス」(4-17〜4-19ページ)や、“J-web”でホームページから着信メロディーを取り込む(4-47ページ)方法があります。

親機の呼出音の種類を変える

受話器を置いたまま操作します。

1 登録/機能 **を押す**

2 ▲ または ▼ で「音関連機能」を選び FAXスタート/決定 を押す

3 ▲ または ▼ で「親機呼出音」を選び FAXスタート/決定 を押す

4 ▲ または ▼ で「親機呼出音切替」を選び FAXスタート/決定 を押す

1 電話ベル音
2 鳥の声
3 電子音
4 春の歌
5 トルコ行進曲
で選択, [決定] で決定
記録紙 戻る

5 ▲ または ▼ で呼出音の種類を選び、FAXスタート/決定 を押す

鳥の声
1 登録
2 再生
で選択, [決定] で決定
記録紙 戻る

(1〜3以外の呼出音を選ぶと、右の画面に「消去」の項目が表示されます)

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
戻るボタンを押す

- はじめは（工場出荷時は）電話ベル音に設定されています。
- “J-web”をご利用になり、ホームページなどから着信メロディーをダウンロードされていたり、スーパーACR2に加入し、ハーモニー呼出音メロディーサービスのメロディーを取り込んだ場合、そのメロディーを選ぶことができます。
- 設定前に呼出音を試聴したいときは、次の手順6の前に、▲または▼で「再生」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押します。聞き終わったら、戻るボタンを押します。

次ページへ→

→つづき

6 ▲ または ▼ で「登録」を選び FAXスタート/決定 を押す

7 停止 を押す

■ **着信時、設定した呼出音とちがう呼出音が鳴るときは（4-104～4-107ページ）**

■ **設定した親機の呼出音を確認したいときは（親機の呼出音量を変える　1-28ページ）**

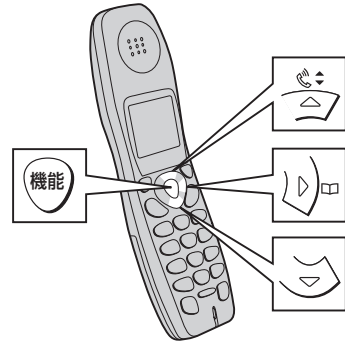
■呼出音を消すときは

"J-web"のホームページやスーパーACR2のハーモニー呼出音メロディーサービスから取り込んだメロディーを消すことができます。

① 登録/機能ボタンを押す
② ▲ または ▼ で「音関連機能」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
③ ▲ または ▼ で「親機呼出音」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
④ ▲ または ▼ で「親機呼出音切替」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
⑤ ▲ または ▼ で消したい呼出音を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
⑥ ▲ または ▼ で「消去」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す
⑦ もう一度FAXスタート/決定ボタンを押す
⑧ 停止ボタンを押す

お知らせ

- 内線から呼び出しがあったときは、呼出音の種類は変わりません。
- 親機の呼出音を電話ベル音以外に設定していても、プリント中などで、親機が動作しているときは、「電話ベル音」になります。
- 親機呼出音のうち「電話ベル音」「鳥の声」「電子音」は消すことができません。（「消去」が表示されません。）「春の歌」「トルコ行進曲」「森のくまさん」は消すことができますが、一度消すと元に戻せないのでご注意ください。
  （強制リセットで工場出荷状態に戻すと、呼出音も元に戻ります。）
- "J-web"のホームページやスーパーACR2のハーモニー呼出音メロディーサービスから取り込んだメロディーは、呼出音の大きさが違うことがあります。
  こんなときは、呼出音の大きさを変えてください。(親機の呼出音量を変える　1-28ページ)

子機の呼出音はあらかじめ 9 種類とオリジナルメロディーが 1 種類内蔵されています。
また、日本テレコム（株）提供の「ハーモニー呼出音メロディーサービス」を利用して親機に取り込んだメロディーの 1 種類を、子機にコピーすることができます。（4-20ページ）
合わせて最大11種類の中から 1 つ選ぶことができます。
オリジナルメロディーは自分で作ることができます。（3-37〜3-44ページ）

子機の呼出音の種類を変える

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 （機能）**を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 （上）**または**（下）**で「着信音色」を選んだあと、**（右）**を押す**

▶音色選択
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾒﾛﾃﾞｨ
◀戻る　選択▶

3 （右）**を押す**

着信音色
◆：音色選択
［機能］決定

●現在設定されている呼出音が鳴ります。

4 （上）**または**（下）**で呼出音の種類を選んだあと、**（機能）**を押す**

着信音色
設定しました

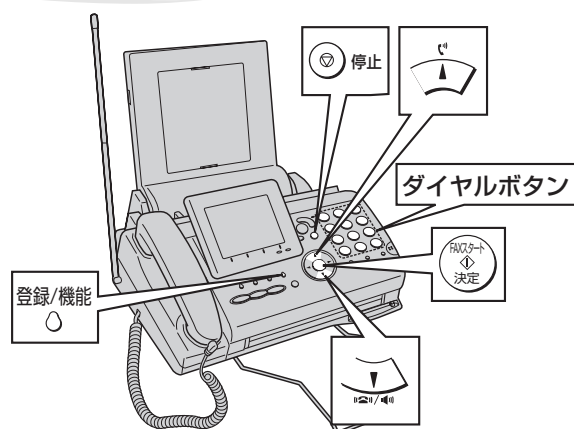
●選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。
●子機の呼出音は次の中から選ぶことができます。

「プルルルルルルルルル」「ピロピロピロピロピロ」
「ピラロピラロピラロピラロ」「ショートメロディー①」
「ショートメロディー②」「展覧会の絵」
「エリーゼのために」「のばら」
「春」「オリジナル」※1
「ＪＴメロディー」※2

※1「自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）」（3-37〜3-44ページ）で作ると選ぶことができます。（工場出荷時にあらかじめ、サンプルが登録されています。）
※2「ハーモニー呼出音メロディーサービス」を利用して親機に取り込んだメロディーをコピーすると、このメロディーを選ぶことができます。

お知らせ
● 内線からの呼び出しのときは、呼出音の種類は固定です。

日付と時刻を合わせる

電源を入れると、ディスプレイに日付と時刻、曜日を表示します。また、ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻、曜日をプリントしたり、留守番電話で用件が録音された日付や時刻を確認したりすることもできます。
（親機の日付・時刻は、工場出荷時にあらかじめ設定されています。）

親機の日付と時刻を合わせる

受話器を置いたまま操作します。

1 登録/機能 **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で「初期登録」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

3 ▲ **または** ▼ **で「日付・時刻」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

日付　01-10-01
時刻　12:00
[ダイヤル] で変更，[決定] で決定
記録紙　取 消

4 ダイヤルボタンで日付を入れる

例：0 1 1 0 0 3
2001年 10月 3日

日付　01-10-03
時刻　12:00
[ダイヤル] で変更，[決定] で決定
記録紙　取 消

5 ダイヤルボタンで時刻を入れる

時刻は24時間制で入れます。

例：1 5 0 0
午後３時　００分

10月 3日 水 15:00
[決定] で決定します
記録紙　取 消

6 FAXスタート/決定 **を押す**

登録しました

7 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

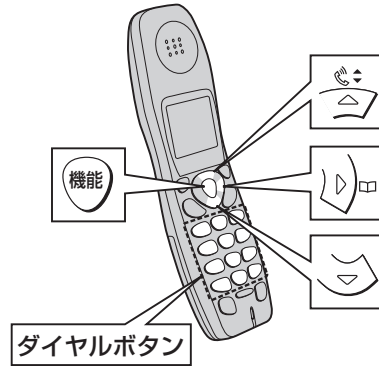
１つ前に戻るとき
戻るボタンまたは取消ボタンを押す

- 数字を入れまちがえたときは、取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。
- 西暦年を入れるときは下２桁を入れます。
【年入力】
２００１年　⇒　０１
〜
２０４８年　⇒　４８

- ０秒から時計がスタートします。

お知らせ

- 時刻表示は、目安としてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）
- 日付が入れば、曜日は自動的に設定されます。年はディスプレイには表示されませんが、送信したファクスにはプリントされます。

子機の時刻を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。(親機の時刻を合わせても子機の時刻は合いません。)

子機の時刻を合わせる

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能) を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 (▲) または (▼) で「時計登録」を選んだあと、(▷) を押す

時計登録
00:00
[機能] 決定

3 ダイヤルボタンで時刻を入れる

時刻は24時間制で入れます。
例：1 0 0 0
午前10時 00分

時計登録
10:00
[機能] 決定

- 1ケタのときは、最初「0」をつけて入れます。
  例：0 9 0 8
  午前9時　8分
- 数字を入れまちがえたときは、(▶) または (◀) でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。

4 (機能) を押す

時計登録
15:00

- 「ピー」と鳴ったあと待機画面に戻り、0秒から時計がスタートします。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

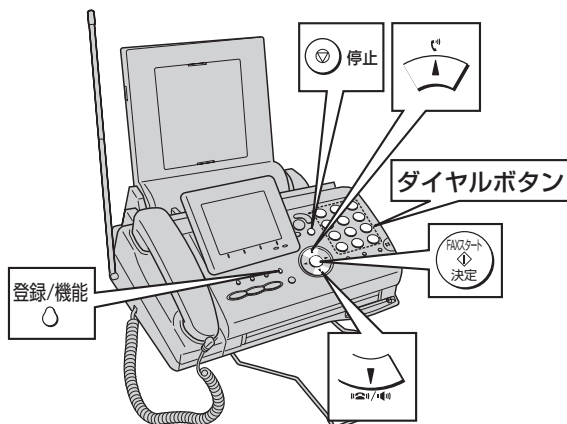
■ **「ピピピピ」と鳴ったときは**
時刻として入力できる範囲を越えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

お知らせ

- 充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。充電後、再度登録してください。
- 操作の途中で2分以上何も操作しないでいると、待機画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

あなたの電話番号や名前を登録する

ファクスを送るとき、あなたの電話番号や名前を相手の方に伝えるために登録します。登録した番号や名前は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

ファクスを受けた相手の方には‥‥‥

あなたの電話番号を登録する

1 登録/機能 **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で「初期登録」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

3 ▲ **または** ▼ **で「発信元番号」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

4 ▲ **または** ▼ **で「登録」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

> 発信元番号
> NO. =
> FAX番号を入力してください
> 記録紙　戻 る

5 **電話番号を入れる（最大20ケタ）**

> 発信元番号
> NO. =0312345678
> 最後に [決定] で決定します
> 記録紙　取 消

●スペース（空白）を入れるときは #↲ を押します。
プラス（＋）を入れるときは ＊ を押します。
●番号を入れまちがえたときは取消ボタンを押して、もう一度入れ直します。

6 FAXスタート/決定 **を押す**

> 登録しました

7 停止 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
戻るボタンまたは取消ボタンを押す

■ **登録した電話番号を消すときは**

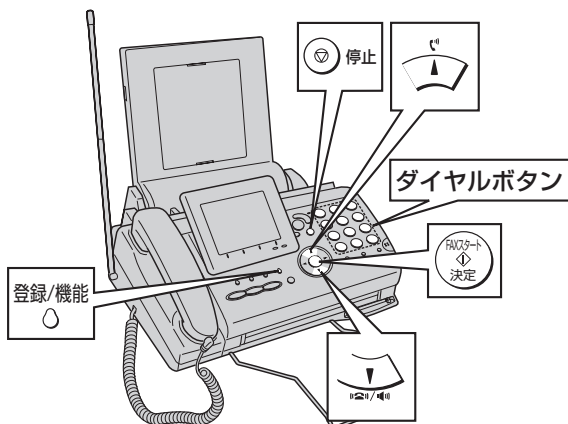
①「あなたの電話番号を登録する」（1-35ページ）の手順1～3の操作をする

② ▲ または ▼ で「消去」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

③ FAXスタート/決定ボタンを押す

④ 停止ボタンを押す

■ **登録した電話番号を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。

あなたの名前を登録する

1 登録/機能 **を押す**

2 **または** **で「初期登録」を選び、** FAXスタート 決定 **を押す**

3 **または** **で「発信元名」を選び、** FAXスタート 決定 **を押す**

4 **または** **で「登録」を選び、** FAXスタート 決定 **を押す**

< 発信元名 > [漢]
>
[ダイヤル] で文字入力, [取消] で
文字切替 取 消

5 **名前を入れる（最大全角12文字／半角24文字）（1-39～1-43ページ）**

< 発信元名 > [漢]
ヒロミ
>
[ダイヤル] で文字入力, [取消] で
文字切替 取 消

6 FAXスタート 決定 **を押す**

登録しました

7 停止 **を押す**

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき

戻るボタンまたは取消ボタンを押す

■ **登録した名前を消すときは**

① 「あなたの名前を登録する」（1-37ページ）の手順１〜３の操作をする

② ▲ または ▼ で「消去」を選び、FAXスタート/決定ボタンを押す

③ FAXスタート/決定ボタンを押す

④ 停止ボタンを押す

■ **登録した名前を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。

文字入力のしかた

ファクシミリ本体にあなたの名前を登録するときや、電話帳の名前、メールサービスを使うときなど、文字入力するときはダイヤルボタンを使って入力します。
文字切替ボタンを使うと入力する文字の種類を替えることができます。

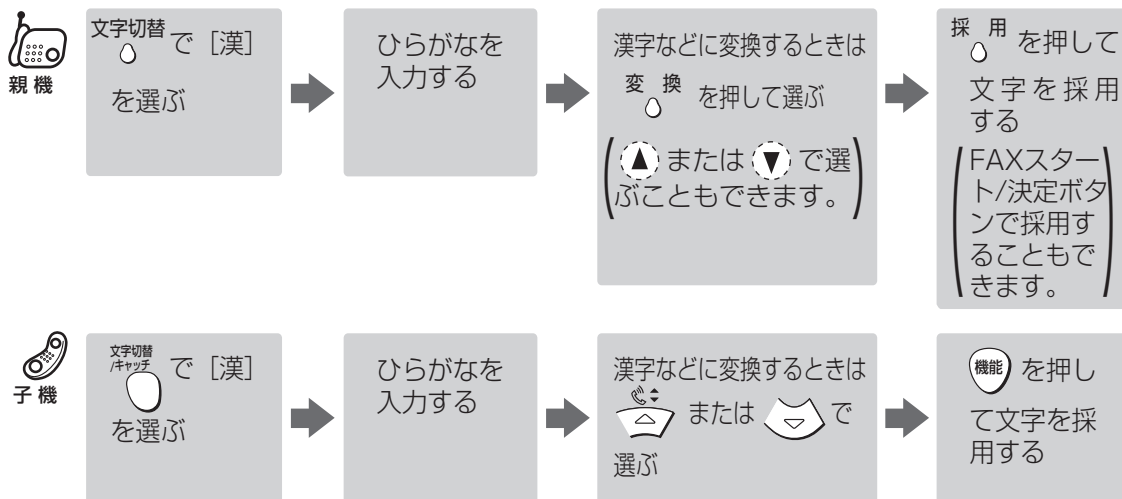
文字入力するときの流れ

■全角の「ひらがな」「漢字」を入力するとき

親機

文字切替 で［漢］を選ぶ → ひらがなを入力する → 漢字などに変換するときは 変換 を押して選ぶ（▲ または ▼ で選ぶこともできます。） → 採用 を押して文字を採用する（FAXスタート/決定ボタンで採用することもできます。）

子機

文字切替/キャッチ で［漢］を選ぶ → ひらがなを入力する → 漢字などに変換するときは △ または ▽ で選ぶ → 機能 を押して文字を採用する

■全角の「カタカナ」「英字」「数字」、半角の「カタカナ」「英字」「数字」を入力するとき

親機

文字切替 で文字の種類を選ぶ → 文字を入力する

子機

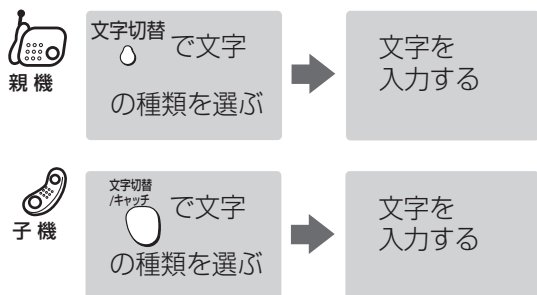
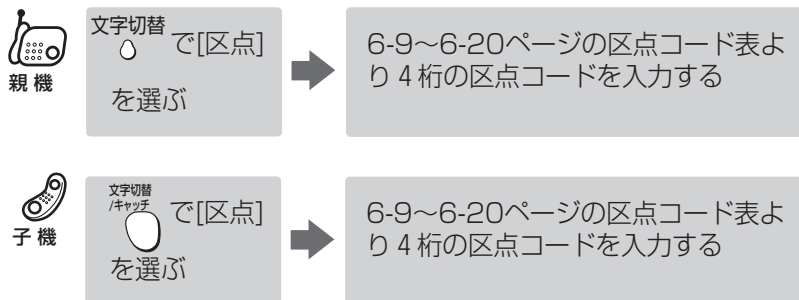
文字切替/キャッチ で文字の種類を選ぶ → 文字を入力する

■区点コードを使って入力するとき

親機

文字切替 で[区点]を選ぶ → 6-9〜6-20ページの区点コード表より４桁の区点コードを入力する

子機

文字切替/キャッチ で[区点]を選ぶ → 6-9〜6-20ページの区点コード表より４桁の区点コードを入力する

文字の種類を選ぶ

文字切替ボタンを押すたびに切り替わります。

親機のとき

文字切替 を押す

子機のとき

文字切替/キャッチ を押す

[漢] ひらがなの全角を表示します。漢字にするときはひらがなを変換して入力します。
↓
[ｶﾅ] カタカナの全角を表示します。
↓
[英] 英字の全角を表示します。
↓
[数] 数字の全角を表示します。
↓
半[ｶﾅ] カタカナの半角を表示します。
↓
半[英] 英字の半角を表示します。
↓
半[数] 数字の半角を表示します。
↓
[区点] 4ケタの数字（区点コード）を入力すると、区点コード一覧表（6-9～6-20ページ）に示す文字（記号、数字、漢字）が全角で入力できます。

「池田」と入力するときは次のように入力します。

親機で文字入力する（例）

1 文字切替 で文字の種類を選ぶ（1-40ページ）

< 名前 > [漢]
>
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
文字切替 取 消

●はじめ、電話帳に登録するときや発信元名、メールの本文と件名を登録するときは、［漢］になっています。メールの宛先を登録のときは、半［英］になっています。

2 1 を 2 回押す

>い
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
変 換 採 用 取 消

●くり返して押すと
あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ
の順に切り替わります。

3 2 を 4 回押す

>いけ
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
変 換 採 用 取 消

●同じボタンを使って入力する文字（例：「あ」と「え」、「わ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは1文字目を入力したあと、▶ を押して、カーソルを移動してから2文字目を入力します。

4 4 を押す

>いけた
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
変 換 採 用 取 消

●メールサービスの送信メール本文作成中に、# （改行）を押すと、改行することができます。（［漢］モードで入力中は文字を採用してから # （改行）を押します。）
また、▼ や ▶ を押してカーソルを移動して、文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。

5 ＊ を押す

>いけだ
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
変 換 採 用 取 消

6 変 換 を押して「池田」を選ぶ

>池田
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
変 換 採 用 取 消

●ボタンを押すたびに切り替わります。
● ▲ または ▼ で選ぶこともできます。

7 採 用 を押す

< 名前 > [漢]
池田
>
[ﾀﾞｲﾔﾙ] で文字入力, [取消] で
文字切替 取 消

●文字を採用します。
●FAXスタート/決定ボタンで採用することもできます。
●続けて文字を入力するときは手順1～7をくり返し操作します。

■ **親機　文字入力一覧表**

入力モード＼入力ボタン	全角				半角			全角
	ひらがな [漢]	カタカナ [ｶﾅ]	英字 [英]	数字 [数]	カタカナ(※1) 半[ｶﾅ]	英字(※2) 半[英]	数字 半[数]	区点コード [区点]
1 あ @./-_	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@．／−＿	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@./-_	1	(6-9〜6-20ページ)
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2	ｶｷｸｹｺ	ABC abc	2	
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3	ｻｼｽｾｿ	DEF def	3	
4 た GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	GHI ghi	4	
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL jkl	5	
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO mno	6	
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS pqrs	7	
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	TUV tuv	8	
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ wxyz	9	
0 わ 記号	わをんー □(スペース) 。、	ワヲンー □(スペース) 。、	，：！？＆ ／（）［］ □（スペース）	0	ﾜｦﾝｰ □(半角スペース)	※3	0	
トーン ⏮ ＊ ﾞﾟ	濁点/半濁点		無効	＊	濁点/半濁点	無効	＊	無効
⏭ ＃ ↲	※4			＃	※4		＃	※4
再ダイヤル ◀ ▶ 電話帳	カーソル左右移動							
▲ ▼	かな漢字変換	カーソル上下移動						
変換	かな漢字変換	無効（非表示）						
取消	カーソル上の１文字を消去							
文字切替	入力モード変換							

（※１）：半角カタカナは、電話帳の登録時や発信元名で使えます。
（※２）：電話帳の登録時は、小文字は使えません。
　メールアドレス入力時は、小文字→大文字、メール本文入力時は、大文字→小文字の順に表示されます。
（※３）：電話帳の登録時は、, : ! ? & / ( ) [ ] □（半角スペース）の順に表示されます。
　メールの宛先や件名、本文入力中は、
　~ , : ; ! ? & ¥ $ % + = ｜ " ' ^ ( ) < > [ ] { } @ . / - _ □（半角スペース）の順に表示されます。
（※４）：メールの本文入力時は ↲（改行）します。

親機の文字入力について

■ 文字を消すには

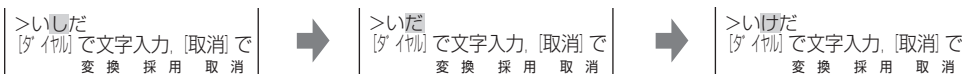
取消ボタンを押すと、カーソルの１つ前が消えます。（カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。）

>いけた
[ダイヤル] で文字入力, [取消] で
変換　採用　取消

■ 文字を入れ直すには

①訂正したい文字を◀または▶で選ぶ

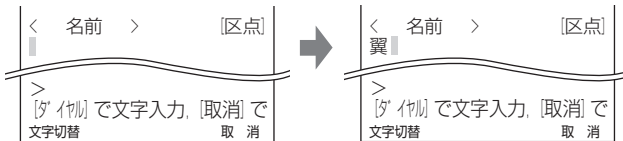
②取消ボタンを押して文字を消す

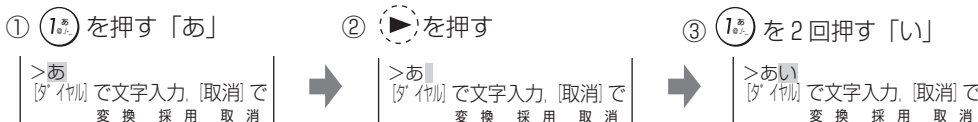
③ダイヤルボタンで入れる
（文字の種類を替えるときは、文字切替ボタンを押す。［漢］モードのときは、入力後に採用ボタンを押してから文字切替ボタンで切り替える）

>いだ
[ダイヤル] で文字入力, [取消] で
変換　採用　取消

>いけだ
[ダイヤル] で文字入力, [取消] で
変換　採用　取消

■ 区点コードで文字を入れるときは

区点コード一覧表を見ながら、ダイヤルボタンで４ケタの数字を入れます。（6-9〜6-20ページ）

（例）区点コード：4567の「翼」を入れる

■ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは

必ず▶を押してカーソルを移動させてから入力します。
（例）「あい」を入れる

① 1 を押す「あ」

② を押す

③ 1 を２回押す「い」

>あ
[ダイヤル] で文字入力, [取消] で
変換　採用　取消

>あ
[ダイヤル] で文字入力, [取消] で
変換　採用　取消

>あい
[ダイヤル] で文字入力, [取消] で
変換　採用　取消

■ 濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは

濁点（゛）や半濁点（゜）をつけたい文字を入れたあと、次の操作を行います。

>だ
[ダイヤル] で文字入力, [取消] で
変換　採用　取消

●くり返し押すと（゛）や（゜）が切り替わります。

■ スペースを入力するときは

▶を必要な分だけ押します。１回押せば半角分のスペースが入ります。
（［漢］モードのときは採用ボタンを押して、文字を採用してから▶を必要な分だけ押してください。）

■ 改行するときは（メール本文作成中のみ）

#を押す
（［漢］モードのときは採用ボタンを押して、文字を採用してから#を押してください。）
また、▼や▶を押してカーソルを移動して文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。

子機で文字入力する（例）

手順	表示	説明
1 文字切替/キャッチ **で文字の種類を選ぶ（1-40ページ）**	名前？ [漢] [機能] 決定	●はじめ、電話帳に登録するときや子機使用者表示を登録するときは［漢］になっています。使用する目的によって異なります。
2 1 **を 2 回押す**	＞い ◆変換	●繰り返して押すと あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ の順に切り替わります。
3 2 **を 4 回押す**	＞いけ ◆変換	●同じボタンを使って入力する文字（例：「あ」と「え」、「わ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは 1 文字目を入力したあと、▶ を押して、カーソルを移動してから 2 文字目を入力します。
4 4 **を押す**	＞いけた ◆変換	●メールサービスの送信メール本文作成中に、（改行）ボタンを押すと、改行することができます。ディスプレイ表示では改行されませんが（マーク表示のみ）、相手の方に送付される文書では改行されています。 （［漢］モードで入力中は文字を採用してから（改行）ボタンを押します。） また、▼ や ▶ を押してカーソルを移動して文字を入力すると、その間に半角スペースが入ります。
5 スピーカーホン **を押す**	＞いけだ ◆変換	
6 **または で「池田」を選ぶ**	＞池田 ◆変換 007	
7 機能 **を押す**	名前 [漢] 池田 [機能] 決定	●文字を採用します。 ●続けて文字を入力するときは手順 1 ～ 7 をくり返し操作します。

■ **変換を取り消すときは**

クリアボタンを押します。

■ 子機　文字入力一覧表

入力モード ＼ 入力ボタン	全角				半角			全角
	ひらがな [漢]	カタカナ [ｶﾅ]	英字 [英]	数字 [数]	カタカナ(※1) 半[ｶﾅ]	英字(※2) 半[英]	数字 半[数]	区点コード [区点]
1 あ @.-_	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	＠．－＿	1	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ	@．-_	1	(6-9～6-20ページ)
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣ ａｂｃ	2	ｶｷｸｹｺ	ABC abc	2	
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦ ｄｅｆ	3	ｻｼｽｾｿ	DEF def	3	
4 た GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	ＧＨＩ ｇｈｉ	4	ﾀﾁﾂﾃﾄ ｯ	GHI ghi	4	
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬ ｊｋｌ	5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL jkl	5	
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯ ｍｎｏ	6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO mno	6	
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS pqrs	7	
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ャュョ	ＴＵＶ ｔｕｖ	8	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ	TUV tuv	8	
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ wxyz	9	
0 わ 記号	わをんー □(スペース) 。、	ワヲンー □(スペース) 。、	，：！？＆ ／（）［］ □(スペース)	0	ﾜｦﾝｰ □(半角スペース)	(※3)	0	
トーン ＊	無効			＊	無効		＊	無効
＃	無効			＃	無効		＃	無効
スピーカーホン 発信/ﾟﾟ	濁点/半濁点		無効		濁点/半濁点	無効		
↵	メールの本文入力時：↵（改行）							
◁ ▷	カーソル左右移動							
△ ▽	かな漢字変換	メール本文入力中、カーソル上下移動						
内線/クリア 保留	カーソル上の１文字を消去							
内線/クリア 保留 を2秒以上押す。	全文字消去							
文字切替/キャッチ	入力モード変換							

(※１)：半角カタカナは、電話帳の登録時や子機使用者表示で使えます。
(※２)：電話帳の登録時は、小文字は使えません。
　　　　メールアドレス入力時は、小文字→大文字、メール本文入力時は、大文字→小文字の順に表示されます。
(※３)：電話帳の登録時は、, : ! ? & / ( ) [ ] ▯（半角スペース）の順に表示されます。
　　　　メールの宛先や件名、本文入力中は、
　　　　, : ; ! ? & ￥ ＄ % ＋ ＝ / ｜ ˜ " ' ^ ( ) < > [ ] { } ▯（半角スペース）の順に表示されます。

子機の文字入力について

■ 文字を消すには

①訂正したい文字を ◀ または ▶ で選ぶ　②クリアボタンを押す

■ 文字を入れ直すには

①訂正したい文字を ◀ または ▶ で選ぶ　②クリアボタンを押して文字を消す　③ダイヤルボタンで正しい文字を選んで入れる

■ 区点コードで文字を入れるときは

区点コード一覧表を見ながら、ダイヤルボタンで４ケタの数字を入れます。（6-9〜6-20ページ）

（例）区点コード：4567の「翼」を入れる

■ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは

（例）「あい」を入れる
必ず ▶ を押してカーソルを移動させてから入力してください。

① 1 を押す「あ」　② ▶ を押す　③ 1 を２回押す「い」

■ 濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは

濁点（゛）や半濁点（゜）をつけたい文字を入れたあと、次の操作を行います。

スピーカーホン を押す

●くり返し押すと（゛）や（゜）が切り替わります。

■ スペースを入力するときは

▶ を必要な分だけ押します。１回押せば半角分のスペースが入ります。
（［漢］モードのときは機能ボタンを押して、文字を採用してから ▶ を必要な分だけ押してください。）

■ 改行するときは（メール本文作成中のみ）

↵ を押す
（［漢］モードのときは機能ボタンを押して、文字を採用してから ↵ を押してください。）